



HANATECH
GARDENS

快天浴シリーズ ヒバセレクトデッキ

Harmony Nature

取扱説明書

- このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
正しく安全にご使用していただくために必ず、この取扱説明書をお読みください。

施工業者の方へのお願い

大切な書類です。施工後は必ずお客様にお渡しください。

本文中の **△ 警告**、**△ 注意** の表示箇所は特に重要です。必ずお守りください。
守れない場合、思わぬ事故につながりケガをするおそれがあります。

△ 警告

- 事故や故障の原因になりますので、むやみな改造、仕様変更はしないでください。
- 乳幼児を一人で遊ばせないでください。必ず大人が付き添ってください。
- 素足では使用しないでください。必ず靴などを履いて使用してください。

△ 注意

- 床板(幕板)に天然木(ヒバ材)を使用しています。天然木本来の良さをそのまま感じていただくため、無塗装になっており、経年とともに変色(グレー色)しますが、品質的に問題はございません。
- 天然木の特性上、気候(風雨・温度・湿度など)や設置環境、経年によりヒビ割れ・小口の割れ・反り・曲がり・ねじれなどが発生します。
- 天然木を使用しているため、1枚1枚各々の質感や色差、木目などが異なります。資源有効活用の観点からご理解をお願いいたします。
- 天然木を使用しているため、ささくれなどが生じることが稀にあります。小さなお子様を遊ばせたり歩かせたりされる際には、特に事前の床面等の状態を確かめてから、おくつろぎください。ようお願いいたします。
- 定期的にネジのゆるみをチェックし、ゆるみがあれば直ぐに締め直してください。
- デッキは地面から各ご家庭に応じて数十センチ高い場所に設置いたしますので、小さなお子様やお身体の不自由な方の転落などには十分ご注意ください。ようお願いいたします。
- 幕板にオプションのアルミ幕板をご採用の際には、真夏など気温が高くなる時期は、アルミ幕板表面の温度が上昇しますので、低温やけどには十分気をつけていただきますようお願いいたします。
- ヒバ材に含まれている「ヒノキチオール」は防虫・抗菌・消臭効果の高い成分ですが、普段から特に雨(水)に濡れた際に匂い(香り)を発生させます。人間に対してはリラックス効果のある成分でございますが、万が一不快になられたり気分が悪くなられたりされた場合は、医師に直ぐにご相談ください。
- 高圧洗浄機は使用しないでください。表面経年変化の色褪せ(銀褐色)をメンテナンスされたい場合は、サンドペーパーで表面研磨をお勧めいたします。
- 天然木のため、火災の原因となりますので火気に近づけないでください。
- 本製品ヒバセレクトデッキは、本来未塗装での販売製品です。使用時に床板・幕板を塗装される場合は、木材保護塗料(例:キシラデコール・サドリンなど)を塗布してください。ペンキなど木が呼吸できなくなる塗料は塗布しないでください。また、木材保護塗料を塗布された際には、床板・幕板の表面温度が上昇しやすくなりますのでご理解ご了承ください。
- デッキの上で、焚き火や花火をしないでください。
- 金属類(硬い物、重量物)を直接デッキの上に置かないでください。木の成分と化学反応をおこし、変色の原因となる場合があります。
- デッキの上に直接植木鉢などを置かないでください。
- 定期的にほうき・雑巾・スポンジなどで掃除してください。汚れがたまった場合は、スポンジと水で洗い流してください。デッキブラシなど硬い物は、デッキを傷つける可能性があります。
- 高圧洗浄機は圧力により木がかけられる場合がありますので、ご注意ください。

カビ(黒斑点)について

※下記方法で、全てのカビ(黒い斑点)等を落とせるわけではありません。

- 天然木(青森ヒバ材)の持っている特徴を生かすため、塗装仕上げのない仕様になっており、使用環境により、カビ(黒い斑点)などが発生する場合があります。
- 【カビ(黒い斑点)の発生を抑える方法について】
- カビの発生源であるヒバ材についたチリ、ほこりを定期的(月2~3回)に濡れた雑巾などで拭き取ってください。
- 雨(雪)が降った後に、ヒバ材の上の溜まった雨水(雪)をそのままにせず、雑巾などで拭き取ってください。(特に気温及び湿度の高い6月~9月)
- ※デッキブラシ・スチールウールなど硬いものは使用しないでください。キズの原因となります。
- 【カビ(黒い斑点)が発生した場合の対応について】
- そのままの状態でも強度上問題ありません。
- カビ(黒い斑点)を落とす場合は、次亜塩素酸水(酸性)を使用してください。
- ※ヒバ材の表面がシルバー色になっている場合、カビと一緒にシルバー色が落ちる場合があります。一度目立たない箇所を確認してください。
- ※塩素(アルカリ)系のカビ取り剤は使用しないでください。木の表面組織が破壊され、変色、荒れを引き起こす可能性があります。
- 樹木・屋根等からの雨だれはカビ(黒い斑点)などの発生の要因になる場合があります。この場合は、上記のメンテナンスをより頻繁に行ってください。



- このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様などの危害や損害を未然に防止するためのものです。表示記号の内容をよく確認したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
 警告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
 注意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれのある内容を示しています。
お願い	●取扱い手順で、特に注意して作業していただきたいことを示しています。守っていただかないと、組み付けできない内容を示しています。

製品破壊、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

施工の前に

-  **警告** ●危険な場所への設置はしないでください。
 - 事故や故障の原因になりますので、むやみな改造、仕様変更はしないでください。
-  **注意** ●正しく施工・組付をするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
 - 本製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
 - 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

ヒバ材の管理について

-  **注意** ●納品されたヒバ材は、速やかに開梱してください。
 - 直射日光や雨、雪がかからない屋内に保管してください。
 - 長時間放置しないでください。反り、曲がりの原因になります。

施工上のご注意

-  **注意** ●本製品の床板（幕板）は、自然素材のヒバ材を使用している為、1本1本の木目や色調が異なります。組み付ける前に割付け・仮置きをして、全体のバランスや配置を確認してから貼り付けてください。
 - 施工の際にヒバ材床板（幕板）に付着した汚れは、すぐに除去してください。時間が経過しますと、汚れが取りにくくなる場合があります。
 - 火気があると燃える可能性があります。火気は近づけないでください。
 - 天然木のため、1枚1枚の個々の質感の差や色差・色ムラ・木目の差・多少の節があります。
 - 自然有効活用の観点から、節の破損部はパテ埋めにて補修を行っております。

INDEX

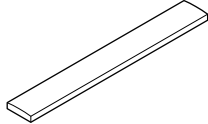
INDEX	1
梱包明細表	2～5
各部名称及び納まり図	5
基本寸法図	6
詳細納まり図	7
1.基礎施工	8
2.束柱・大引きの施工	8～10
1.束柱の加工及び束柱固定金具の組付	8
2.大引きの加工	9
3.束柱・大引きの組付及び大引き端部金具の組付	10
4.束柱の固定（基礎石）	10
3.床板の施工	11～14
1.床板の加工（長さカット）	11
2.床板の孔加工（下孔加工）	12
3.床板取付け孔のサラ加工	12
4.床板小口（カットした面）への塗料の塗布	13
5.床板の貼付け	13
6.大引き端部金具の調整	14
7.床板前面側小口面の確認及び加工	14
4.側面幕板の加工及び貼付け	15～17
1.出幅サイズ3尺～6尺の場合（1枚貼り・連結なし）	15
2.出幅サイズ7尺～9尺の場合（2枚貼り・連結あり）	16・ 17
5.正面幕板の加工及び貼付け	18～20
1.間口サイズ1.0間の場合（1枚貼り・連結なし）	18
2.間口サイズ1.5間～5.0間の場合（複数枚貼り・連結あり）	19・ 20
6.ステップの施工	21～25
1.ステップの種類及び組み合わせ	21・ 22
2.詳細納まり図	23
3.基礎施工	24
4.大引きと束柱の組付	24
5.床板の加工及び貼付け	25
6.幕板の加工及び貼付け	25
7.アルミ幕板の施工（デッキ本体）	26～28
①側面アルミ幕板の加工及び貼付け	26・ 27
1.出幅サイズ3尺～6尺の場合（1枚貼り・連結なし）	26
2.出幅サイズ7尺～9尺の場合（2枚貼り・連結あり）	26・ 27
②正面アルミ幕板の加工及び貼付け	27・ 28
1.間口サイズ1.0間の場合（1枚貼り・連結なし）	27
2.間口サイズ1.5間～5.0間の場合（複数枚貼り・連結あり）	28
8.アルミ幕板の施工（ステップ）	29
1.アルミ幕板の加工及び貼付け	29

梱包明細表

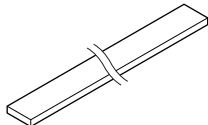
ご注意

- 開梱時に製品の種類と数量をご確認ください。
- 商品に異常がない事をご確認ください。

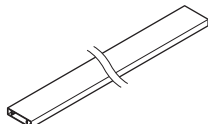
床板(2枚入り)・(3枚入り) セット

名称 部材・部品	略図	員数	
		2枚入り	3枚入り
床板 L=1800		2	3

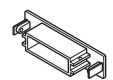
幕板(2枚入り)・(3枚入り) セット

名称 部材・部品	略図	員数	
		2枚入り	3枚入り
ヒバ材幕板 L=1900		2	3

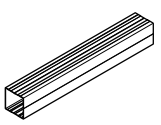
アルミ幕板(2枚入り)・(3枚入り) セット

名称 部材・部品	略図	員数	
		2枚入り	3枚入り
アルミ幕板 L=1900		2	3
φ4×50トラスタッピングネジ1種		14	21

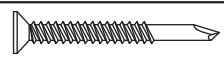
アルミ幕板端部キャップ(2個入り) セット

名称 部材・部品	略図	員数
アルミ幕板端部キャップ		2
φ4×13ナベドリルネジ		4

束柱H600(3本入り)・(4本入り) セット

名称 部材・部品	略図	員数	
		3本入り	4本入り
束柱 L=495		3	4
束柱固定金具		3	4
φ4×16ナベドリルネジ		19(予備1)	26(予備2)
φ5×35セルフタップアンカー		4(予備1)	5(予備1)

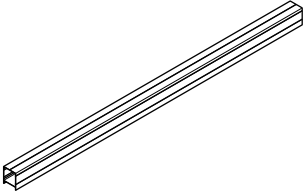
床板取付サードドリルネジ(10本入り)・(50本入り) セット

名称 部材・部品	略図	員数	
		10本入り	50本入り
φ4×50サードドリルネジ		10	50

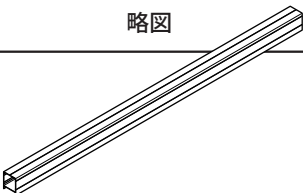
梱包明細表

大引き標準1.0間(2本入り)・(3本入り) セット

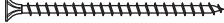
大引き標準1.5間(2本入り)・(3本入り) セット

名称 部材・部品	略図	員数	
		2本入り	3本入り
大引き標準1.0間 L=1734		2	3
大引き標準1.5間 L=2609		2	3

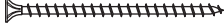
大引き連結1.0間(2本入り)・(3本入り) セット

名称 部材・部品	略図	員数	
		2本入り	3本入り
大引き連結1.0間 L=1750		2	3
大引きスリーブ材 L=180		2	3
φ4×16ナベドリルネジ		34(予備2)	51(予備3)

大引き端部金具(2個入り)・(3個入り) セット

名称 部材・部品	略図	員数	
		2個入り	3個入り
大引き端部金具		2	3
φ4×16ナベドリルネジ		9(予備1)	13(予備1)
φ4×50サラダドリルネジ ※1		3	4
φ4.2×65フレキコースレッド ※1 ※2		9	11

正面幕板固定金具(1セット入り)セット

名称 部材・部品	略図	員数
大引き端部金具		1
正面幕板固定金具		1
φ4×16ナベドリルネジ		7
φ4×50サラダドリルネジ ※2		3
φ4.2×65フレキコースレッド ※2		6

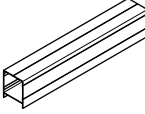
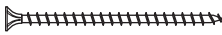
※1 側面幕板の組み付け用です。

※2 正面幕板の組み付け用です。

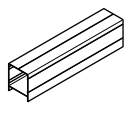
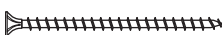
(φ4.2×65フレキコースレッドは、「大引き端部金具セット」ネジも使用してください。)

梱包明細表

■ステップ用フレームA(束柱連結用) セット

名称 部材・部品	略図	員数
大引き L=479		1
束柱 L=195		1
大引き端部金具		1
大引き取付金具		1
束柱固定金具		1
φ4×16ナベドリルネジ		17(予備1)
φ4×50サドリルネジ		8(予備2)
φ4.2×65フレキコースレッド		7(予備1又は2)
φ5×35セルフタップアンカー		2(予備1)

■ステップ用フレームB(独立用) セット

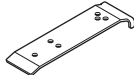
名称 部材・部品	略図	員数
大引き L=376		1
束柱 L=195		2
大引き端部金具		1
束柱固定金具		2
φ4×16ナベドリルネジ		17(予備1)
φ4×50サドリルネジ		8(予備2)
φ4.2×65フレキコースレッド		7(予備1又は2)
φ5×35セルフタップアンカー		3(予備1)

梱包明細表

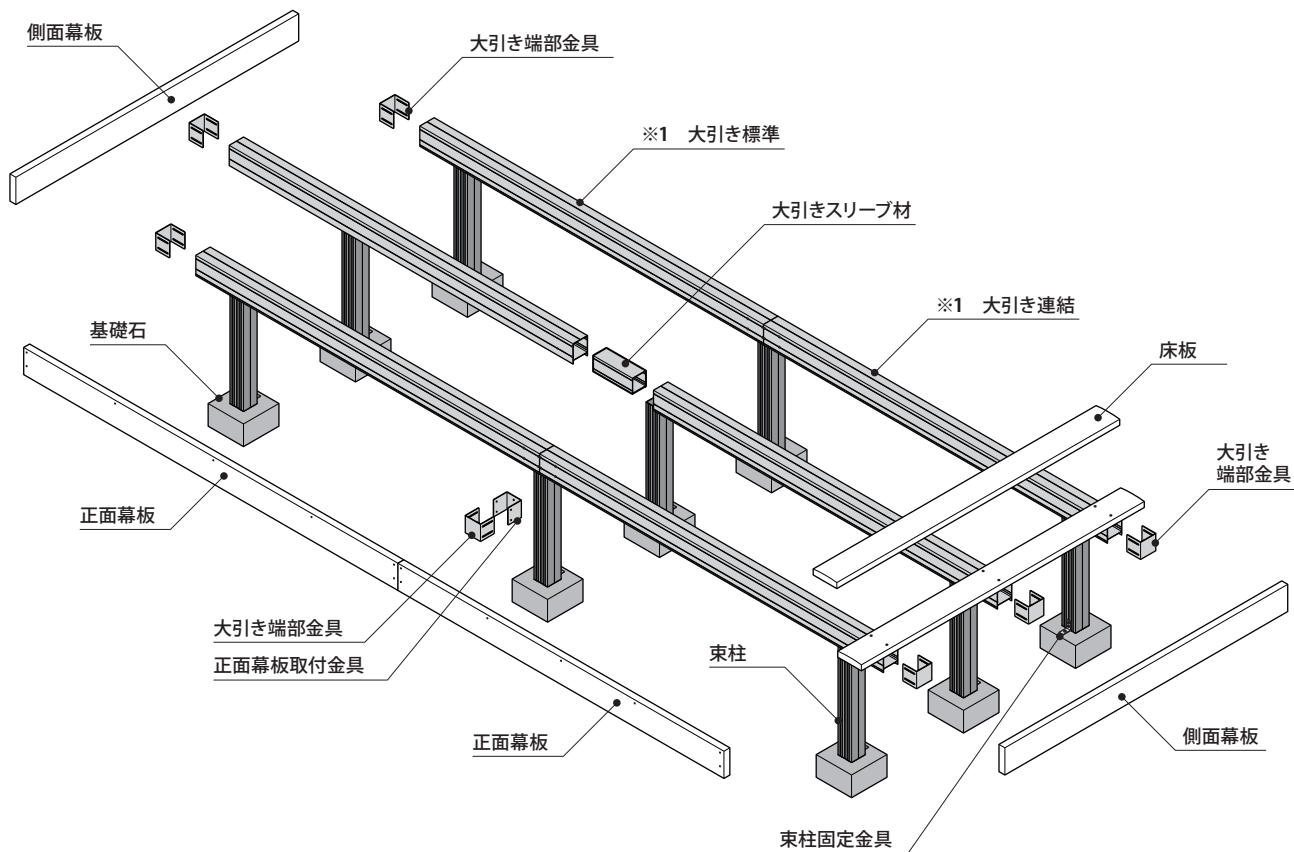
小口塗料(50g) セット

名称 部材・部品	略図	員数
小口塗料(50g)	 50g	1

部品セット

名称 部材・部品	略図	員数
孔あけ治具		2
刷毛		1
取扱・取付説明書		1

各部名称及び納まり図

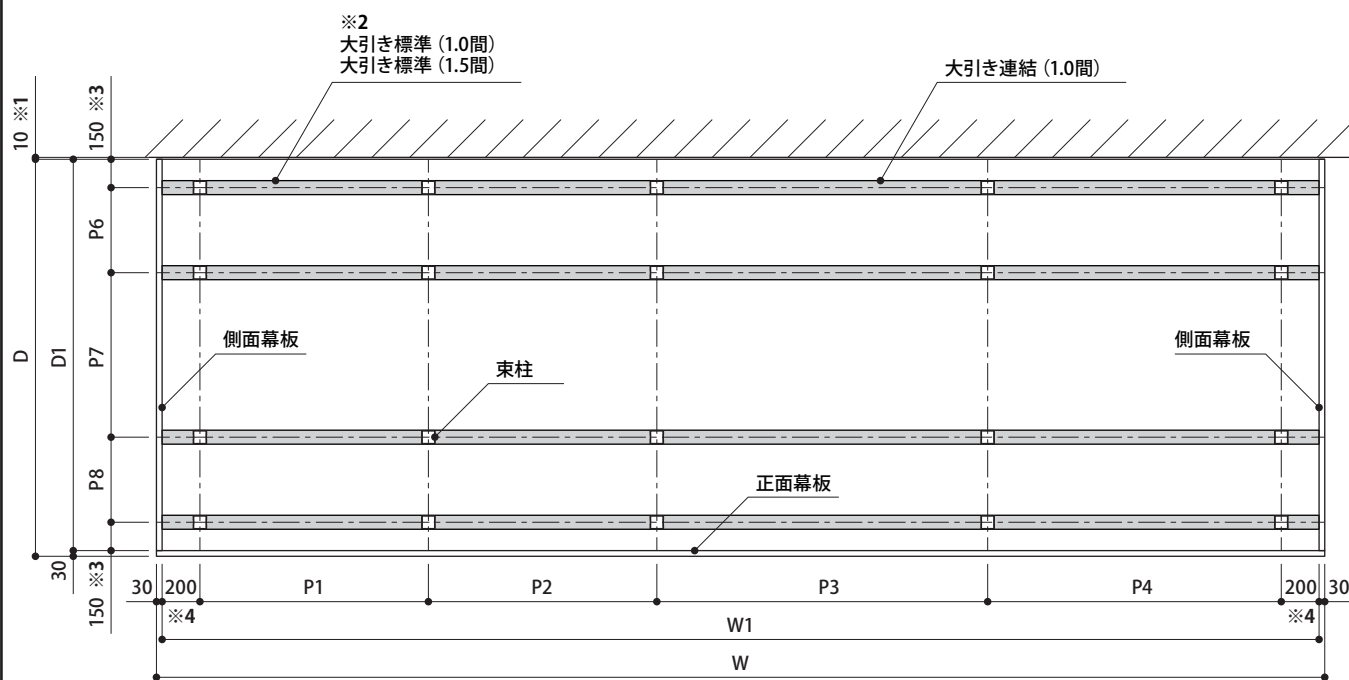


※1 大引きを連結する場合、基本正面左側が大引き標準、右側が大引き連結になります。

●本図は、間口寸法2.0間、出幅寸法5尺・6尺の場合です。

●床板は正面右より貼り付け、最後に床板側面と大引き端部金具が同面になるよう、大引き標準左側の大引き端部金具の長孔で調整してください。

基本寸法図



※1 躯体との隙間を10mmあけてください。

※2 大引き標準 (1.0間・1.5間) は、必ず端部に取り付けてください。

※3 床板の最大持出し寸法になります。

※4 大引きの最大持出し寸法になります。

●本図は、間口3.5間・出幅7尺の場合です。

●間口4.5間・5.0間はP5までになります。

■間口方向 (mm)

間口寸法	W	W1	束柱ピッチ					使用大引き
	デッキ外々寸法	床板外々寸法	P1	P2	P3	P4	P5	
1.0間	1805	1745	1345	-	-	-	-	1.0間標準
1.5間	2680	2620	1110	1110	-	-	-	1.5間標準
2.0間	3555	3495	1542	1553	-	-	-	1.0間標準+1.0間連結
2.5間	4430	4370	1208.5	1208.5	1553	-	-	1.5間標準+1.0間連結
3.0間	5305	5245	1542	1750	1553	-	-	1.0間標準+1.0間連結×2
3.5間	6180	6120	1208.5	1208.5	1750	1553	-	1.5間標準+1.0間連結×2
4.0間	7055	6995	1542	1750	1750	1553	-	1.0間標準+1.0間連結×3
4.5間	7930	7870	1208.5	1208.5	1750	1750	1553	1.5間標準+1.0間連結×3
5.0間	8805	8745	1542	1750	1750	1750	1553	1.0間標準+1.0間連結×4

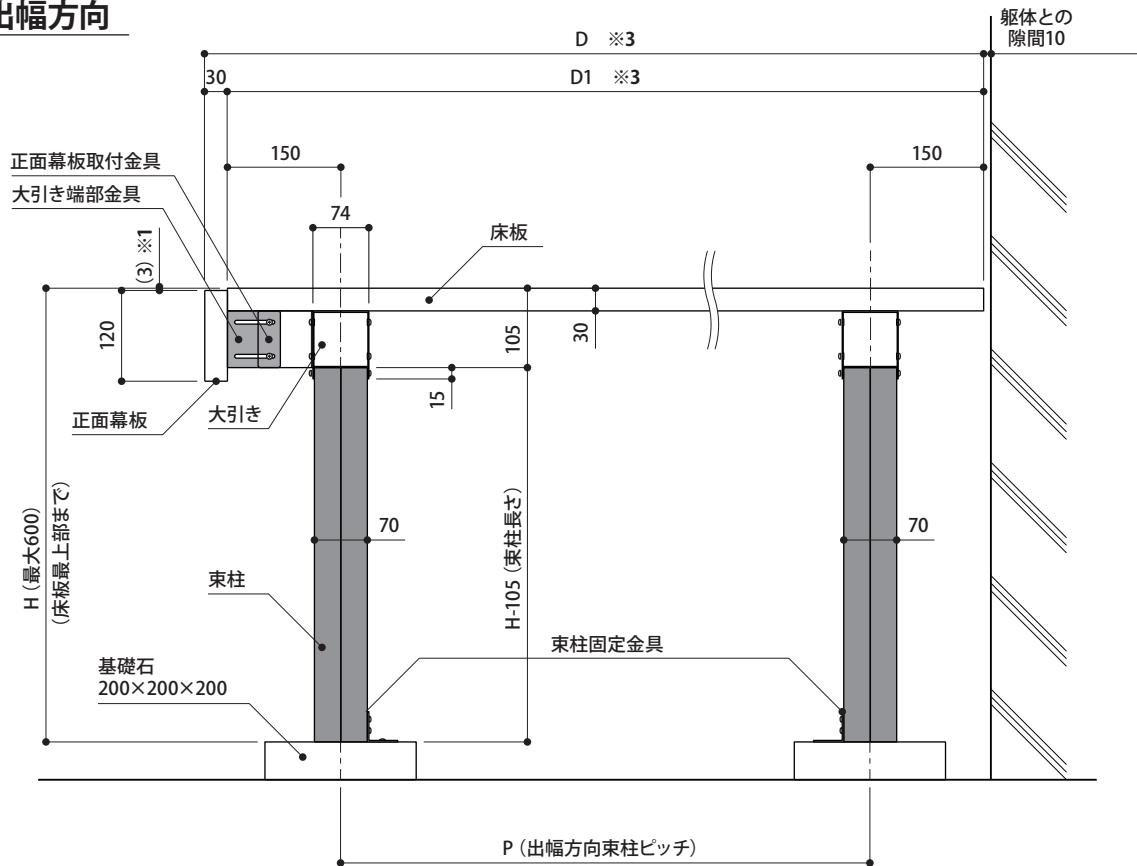
■出幅方向 (mm)

出幅寸法	D	D1	束柱ピッチ		
	デッキ出寸法	床板出寸法	P6	P7	P8
3尺	900	870	570	-	-
4尺	1200	1170	870	-	-
5尺	1500	1470	585	585	-
6尺	1800	1770	735	735	-
7尺	2100	2070	450	870	450
8尺	2400	2370	585	900	585
9尺	2700	2670	735	900	735

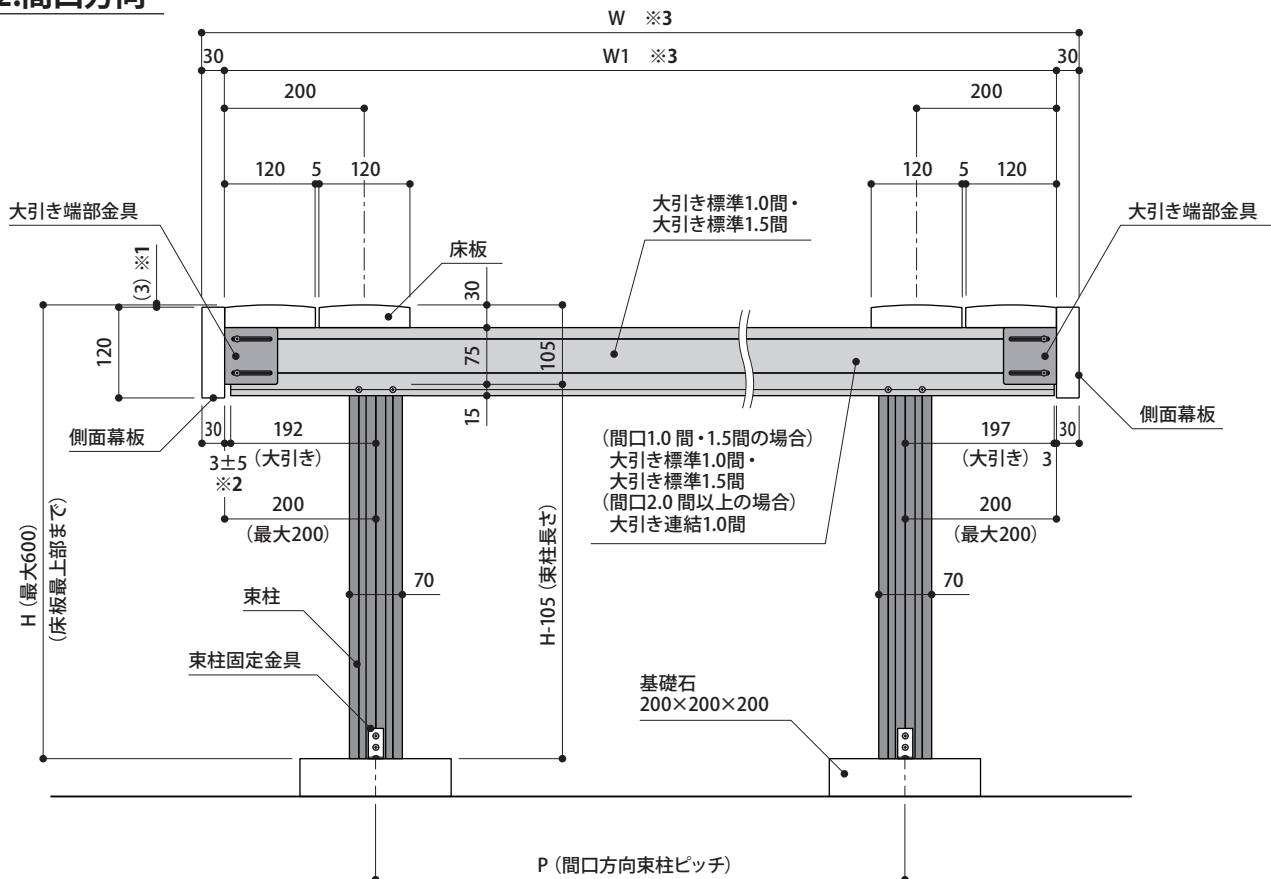
※W、W1、D、D1寸法は、天然木使用の為、多少ばらつきが発生します。

詳細納まり図

1.出幅方向



2.間口方向



※1 床板最上部 (R部) と幕板上面との寸法になります。

※2 ±5は最後に貼り付ける床板側面と大引き端部金具の面を揃える為の調整寸法です。(この場合、床板は右から貼り付けます。)

※3 天然木使用の為、多少のばらつきが発生します。

●本図は、左側端部に大引き標準1.0間・大引き標準2.0間を使用した場合です。この場合、床板は右から貼り付けます。

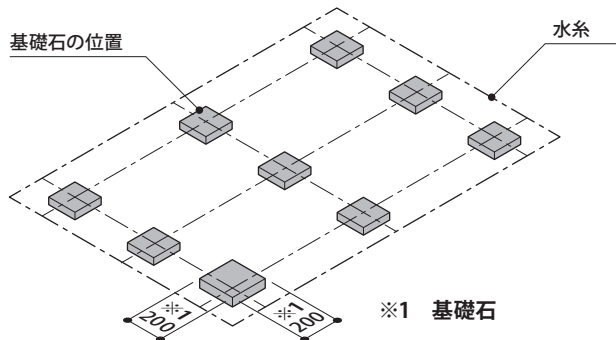
●D、D1、W、W1寸法は、P6を参照してください。

1.基礎施工

お願い

ステップを設置する場合は、P21を参照にて同時に基礎施工を行ってください。

- ①P6「基本寸法図」を参照に束柱の位置に穴を掘り、碎石を敷いて突き固めてください。
- ②基礎石を設置し、レベル出しを行ってください。
- ③基礎石の周りをモルタルで固めてください。

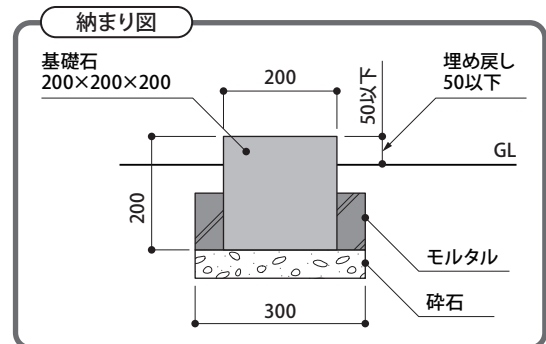


ご注意

①②③の作業を必ず行ってください。不十分な場合、基礎の浮き沈みや床板の反りの原因になります。

お願い

基礎上面でのレベル出しを行い、各基礎上面が同面になるようにしてください。



2.束柱・大引きの施工

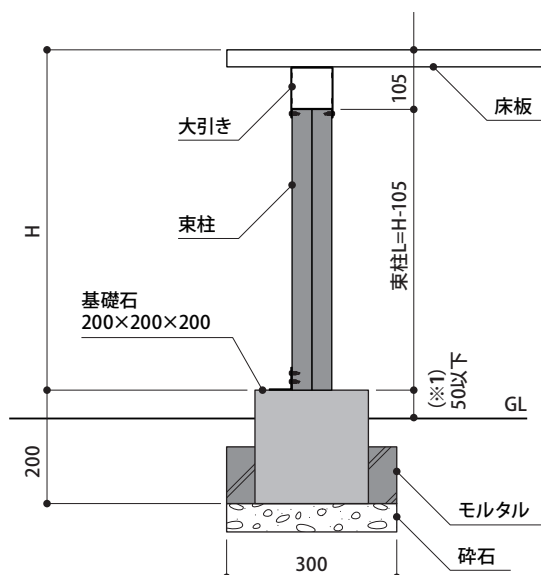
1.束柱の加工及び束柱固定金具の組付

- ①デッキ仕上り高Hを決定してください。H寸法は最大600になります。(下図参照)
- ②デッキ仕上り高に合わせ、下図を参照の上、各束柱を必要長さLに切断してください。
- ③束柱の向き(V溝3本側)に注意し、束柱固定金具を束柱のセンターV溝に下面を合わせて取り付けてください。参照 下図の「●束柱固定金具の取付位置」

部材名	梱包名称
束柱	
束柱固定金具	束柱H600 (3本入り)・(4本入り) セット
φ4×16ナベドリルネジ	

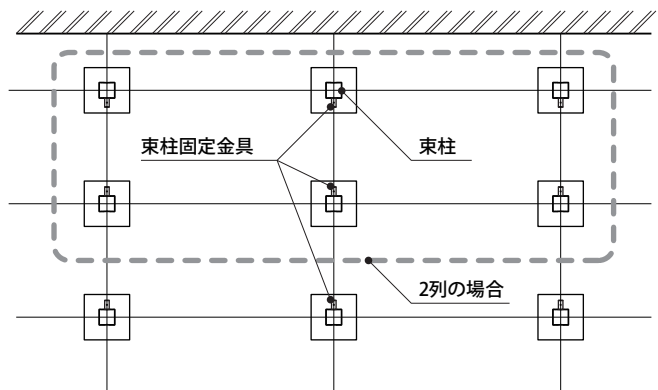
納まり図

●束柱必要長さL:H-105



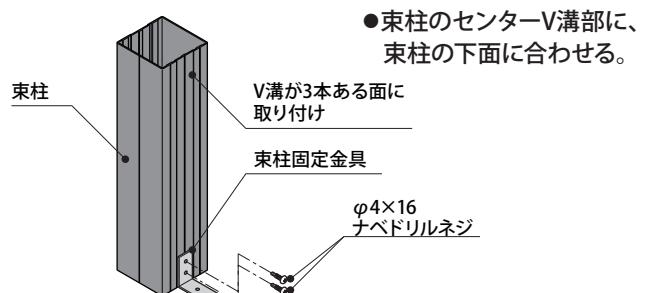
基礎をGL面より出す場合は、基礎石の高さ(※1)を考慮して切断してください。

●束柱固定金具の取付位置



- 上記は、大引きが3列(出幅5尺、6尺)の場合です。
- 2列(出幅3尺、4尺)の場合は、[]内になります。
- 4列(出幅7尺～9尺)の場合は、2列の繰り返しになります。

●大引き取付金具の取付方法



2.束柱・大引きの施工

2.大引きの加工

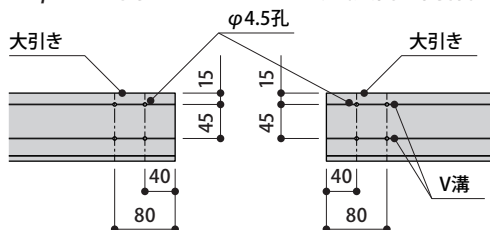
●大引きスリーブ材組付用の孔加工及び大引きスリーブ材の組付（大引きに連結がある場合）

大引きに連結のある場合（間口寸法2.0間以上）は、先に下記参照にて連結する大引きに加工をし、連結部に大引きスリーブ材を片方の大引きに組み付けておいてください。（下図参照）

部材名	梱包名称
大引き標準1.0間	大引き標準1.0間（2本入り）・（3本入り）セット
大引き標準1.5間	大引き標準1.5間（2本入り）・（3本入り）セット
大引き連結1.0間	大引き連結1.0間（2本入り）・（3本入り）セット
大引きスリーブ材	
φ4×16ナベドリルネジ	

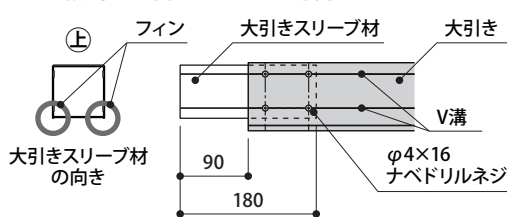
●大引きスリーブ材組付の為の大引きの加工

- ①連結する大引き（V溝部）に下図のようにφ4.5の下孔をあけてください。（裏側も同様）



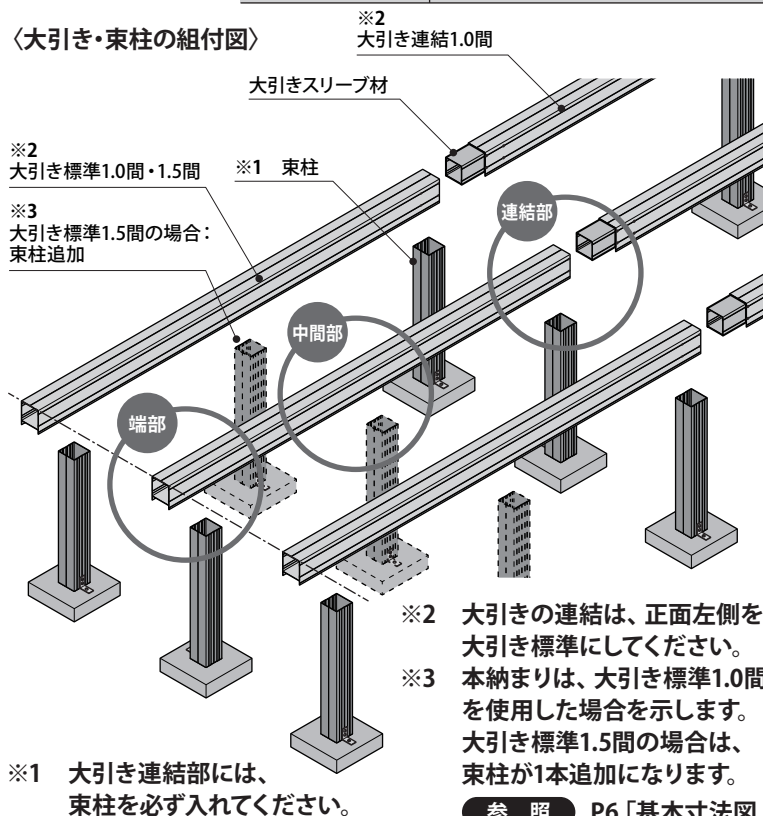
●大引きスリーブ材の組付（片側大引きの場合）

- ①片側の大引きに大引きスリーブ材の長さ半分の90mmを挿入し、大引きの孔に合わせスリーブ材にφ3.5の孔をあけ、φ4×16ナベドリルでネジ止めしてください。この時、大引きと大引きスリーブ材は水平に組み付けてください。連結時、大引きがズれる場合があります。



- スリーブ材には上下があります。フィンが出ているのが下面になります。

＜大引き・束柱の組付図＞



- ※1 大引き連結部には、束柱を必ず入れてください。

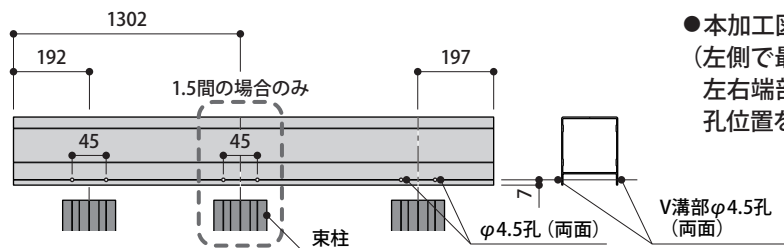
- ※2 大引きの連結は、正面左側を大引き標準にしてください。
※3 本納まりは、大引き標準1.0間を使用した場合を示します。大引き標準1.5間の場合は、束柱が1本追加になります。

参照 P6「基本寸法図」

●束柱組立用の孔加工

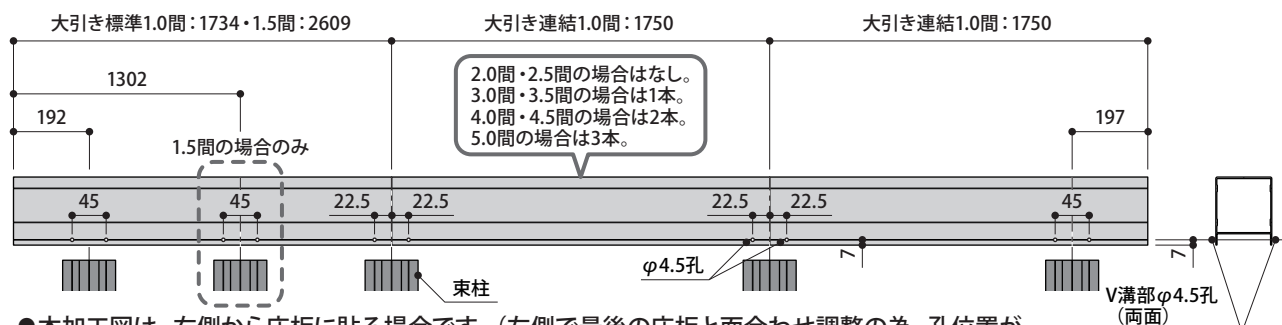
- ①大引きの種類、束柱の組付位置により孔位置寸法が異なります。下記参照にて、孔加工を施してください。

●間口1.0間・1.5間（大引きの連結がない）の場合



- 本加工図は、右側から床板に貼る場合です。（左側で最後の床板と面合わせ調整の為、孔位置が左右端部で5mm異なります。左側から貼る場合は、孔位置を左右逆にしてください。）

●間口2.0間以上（大引きを連結する）の場合

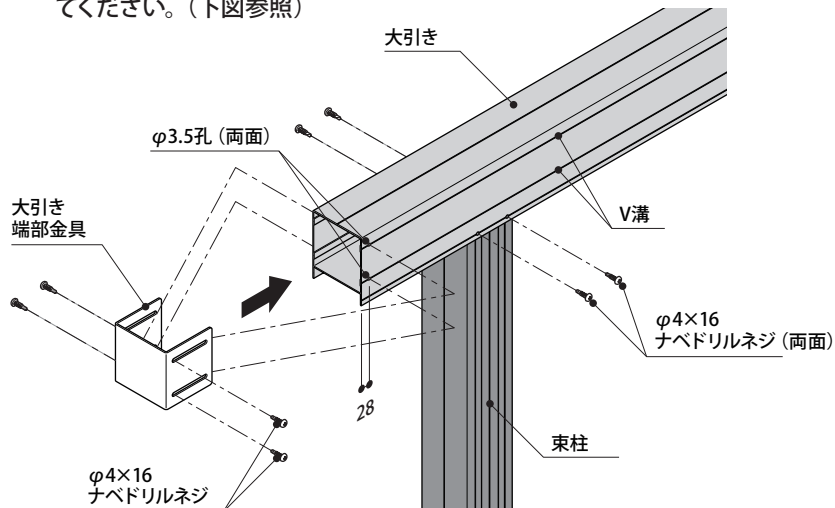


- 本加工図は、右側から床板に貼る場合です。（左側で最後の床板と面合わせ調整の為、孔位置が左右端部で5mm異なります。左側から貼る場合は、大引き標準を右側端部にし、孔位置を左右逆にしてください。）

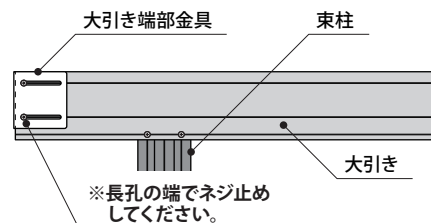
2.束柱・大引きの施工

3.束柱・大引きの組付及び大引き端部金具の組付

- ①束柱と大引きを、 $\phi 4 \times 16$ ナベドリルネジで取り付けてください。
(下図参照)
- ②大引きに連結がある場合は、P9参照にて同時に連結させてください。
- ③大引きのV溝に大引き端部金具を、 $\phi 4 \times 16$ ナベドリルネジで取り付け
てください。(下図参照)



大引き端部金具納まり図



※床板を最初に貼る側(正面右側)は、大引き固定金具を大引き小口の近くにして、ネジ止めしてください。床板を最初に貼る側(正面左側)は床板の面に合わせる為、長孔で調整を行います。

4.束柱の固定(基礎石)

- ①下図のように、基礎石に $\phi 4.3$ の下孔をあけて、 $\phi 5 \times 35$ セルフタップアンカーで束柱を基礎石に固定してください。

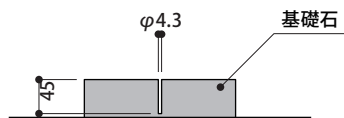
部材名	梱包名称
$\phi 5 \times 35$ セルフタップアンカー	束柱H600 (3本入り)・(4本入り) セット

お願い

基礎石への束柱のネジ止めの時、出幅方向の束柱(大引き) ピッチ (P6・P7・P8) が出ているか、確認してください。(P6「基本寸法図」参照)

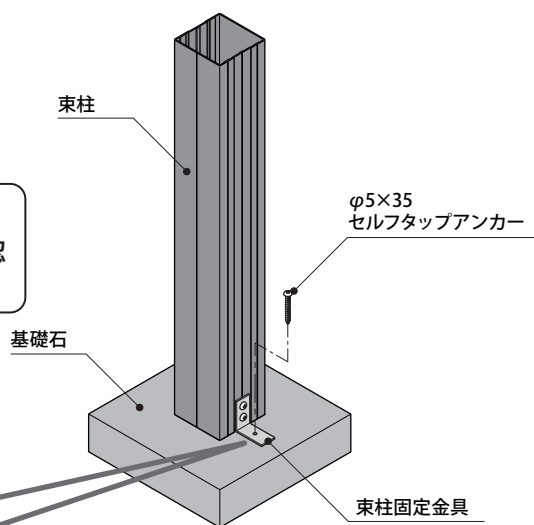
ご注意

- 基礎石に下孔をあけてください。
※下孔が小さいと、ネジが切れる可能性があります。



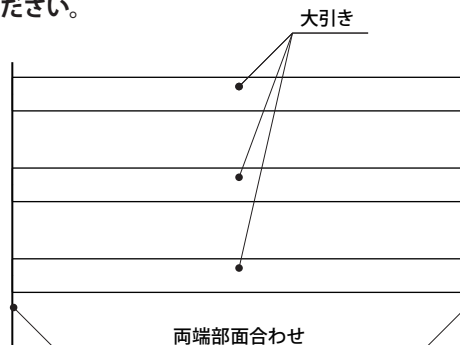
お願い

束柱固定後、束柱(大引き) ピッチが出ているか、確認してください。



ご注意

基礎石に束柱を固定する前に、全ての大引きの両端部の面が同面であることを、必ず確認してください。



3.床板の施工

1.床板の加工（長さカット）

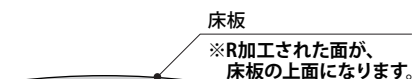
- 出幅サイズにより、納まり・加工が異なります。
- 出幅6尺以下は1枚貼り、7尺以上は2枚貼り（連結）になります。
- 下記表の床板長さを参照にて床板をカットしてください。

部材名	梱包名称
床板	床板（2枚入り）・（3枚入り）セット

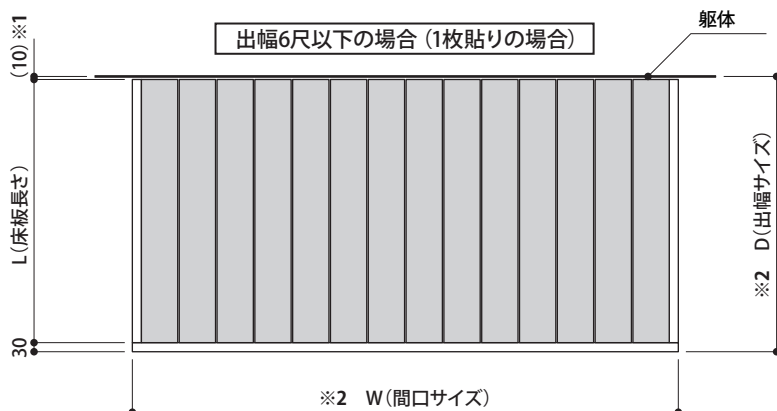
お願い

ステップを設置する場合は、デッキ本体の床を貼る前に、ステップの束柱・大引きの組付及び床板の貼付けを行ってください。（P21～25参照）

断面図



- ※1 躯体との隙間寸法
 ※2 W・D寸法は、P6「基本寸法図」を参照してください。

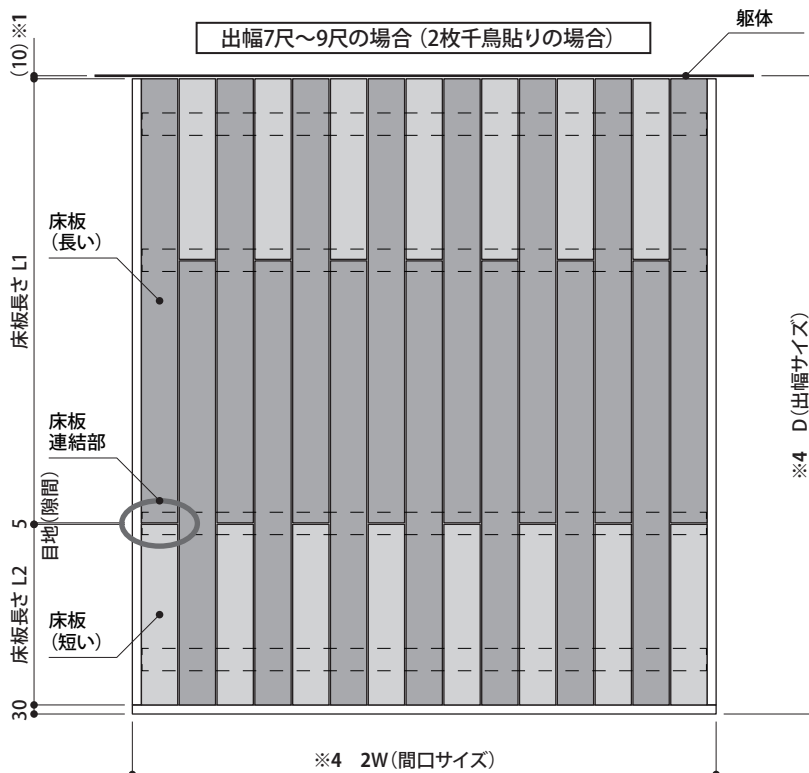


■出幅サイズ別床板長さ及び、サイズ別床板数量

出幅サイズ	L（床板長さ）	数 量								
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間	3.5間	4.0間	4.5間	5.0間
3尺	870 ※3	14	21	28	35	42	49	56	63	70
4尺	1170									
5尺	1470									
6尺	1770									

- ※3 3尺は1800の床板から2枚取ってください。他は1枚取りになります。

- ※4 W・D寸法は、P6「基本寸法図」を参照してください。



- ※5 1800の床板から3枚取ってください。
 ※6 1800の床板から2枚取ってください。
 ※7 L1、L2それぞれの数量です。

■出幅サイズ別床板長さ及び、サイズ別床板数量

出幅寸法	床板長さ	数 量 ※7								
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間	3.5間	4.0間	4.5間	5.0間
7尺	L1 1468	14	21	28	35	42	49	56	63	70
	L2 597 ※5									
8尺	L1 1633									
	L2 732 ※6									
9尺	L1 1783									
	L2 882 ※6									

3.床板の施工

2.床板の孔加工 (下孔加工)

- 出幅寸法により、孔加工位置・孔数が異なります。
- 下記参照にて、孔あけ治具を使ってφ4.5の孔をあけてください。

参 照 下図の「●孔あけ治具による床板の加工方法」

■3尺・4尺の場合

両端部から150mmの位置に、孔あけ治具を使ってφ4.5の孔を4ヶ所あけてください。
センター部の孔加工は必要ありません。(右図参照)

■5尺・6尺の場合

両端部から150mm及びセンター部に、孔あけ治具を使ってφ4.5の孔を6ヶ所あけてください。(右図参照)

■7尺～9尺の場合

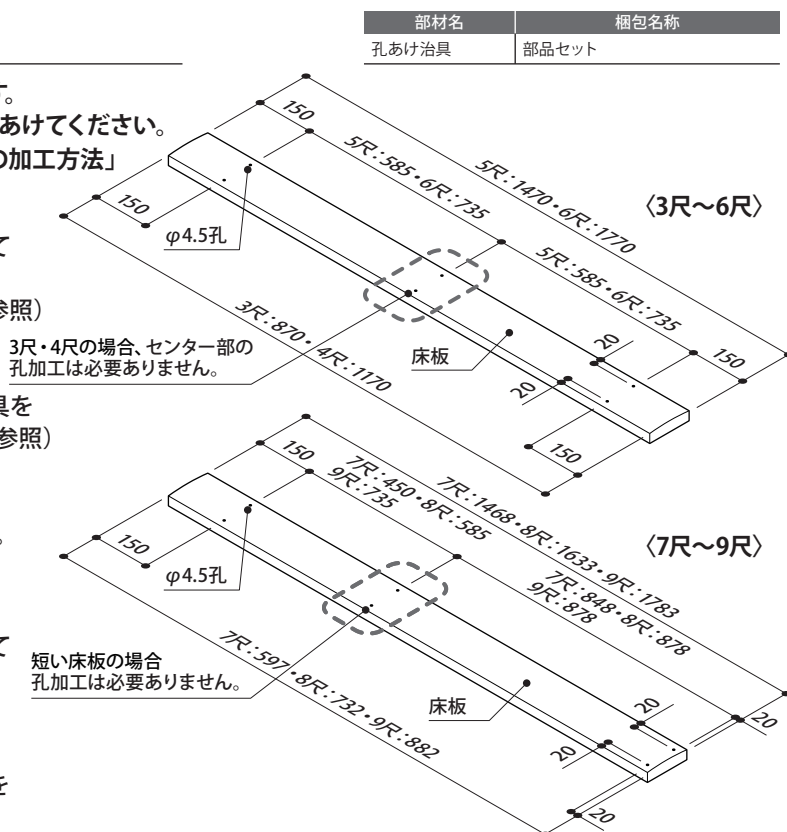
- 長さの短い床板と長い床板で加工が異なります。
- 下記参照にて、それぞれ加工してください。

〈短い床板の孔加工〉

両端部から150mmの位置に、孔あけ治具を使ってφ4.5の孔を4ヶ所あけてください。センター部の孔加工は必要ありません。

〈長い床板の孔加工〉

端部から150mm及びセンター部に、孔あけ治具を使ってφ4.5の孔を6ヶ所あけてください。



●孔あけ治具による床板の加工方法

床板の孔加工は、孔あけ治具を使ってφ4.5の孔をあけてください。

- ①加工する床板に、孔あけ治具のフィン部を引っ掛けます。

- ①孔あけ治具のフィン部を引っ掛ける

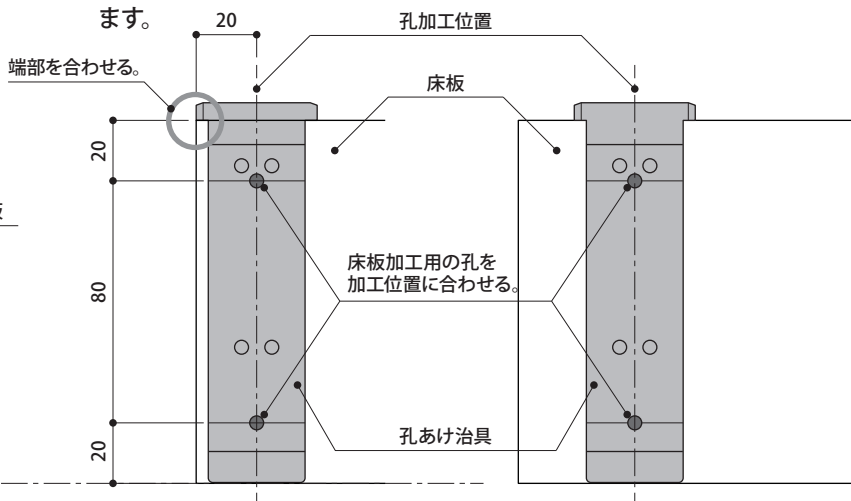
※揃える

●端部から20mmの場合 (連結部)

孔あけ治具のセンター孔を孔加工位置に合わせます。孔あけ治具のフィン部端部と床板端部を合わせます。

●端部から20mm以外の場合 (連結部以外)

孔あけ治具のセンター孔を孔加工位置に合わせます。

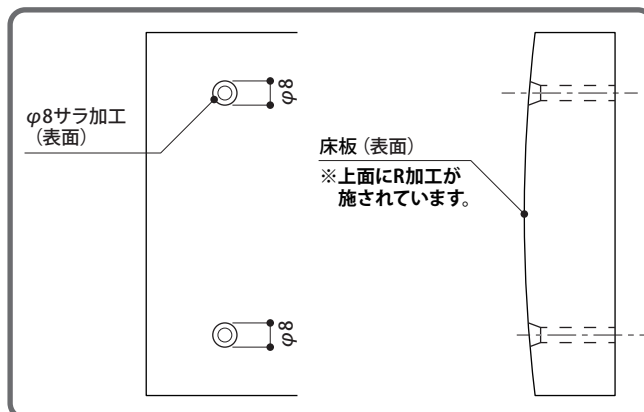


3.床板取付け孔のサラ加工

- ①床板にあけたφ4.5の孔にφ8のサラ加工を施してください。(割れ防止の為)

※R加工された面が床板の上面です。サラ加工は床板の上面 (R加工面) に施してください。

※サラ加工用ドリルで加工するときれいにできます。

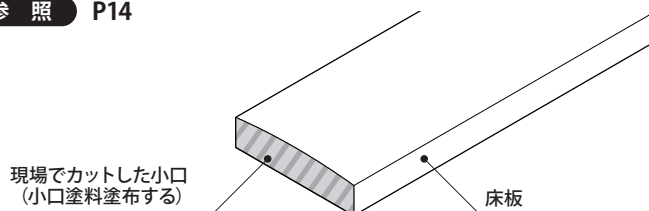


3.床板の施工

4.床板小口（カットした面）への塗料の塗布

- ①現場でカットした床板小口に、小口塗料を刷毛で必ず塗布してください。
 ※正面幕板を取り付ける面は、床板を貼り付けた後に面そろえの為カットが必要になる場合がありますので、この場合はカット後に塗布してください。

参 照 P14



部材名	梱包名称
小口塗料 (50g)	小口塗料 (50g) セット
刷毛	部品セット

ご注意

塗布時に、塗料が床板の小口面からはみ出さないように注意してください。

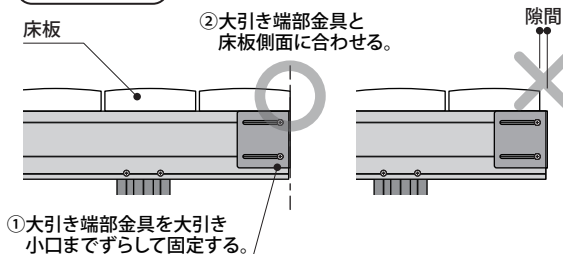
5.床板の貼付け

- 出幅寸法により、床板の貼り方が異なります。
下記参照にて、貼り付けてください。
- 右側端部側から順番に孔あけ治具を使い、床板と床板の間隔を5mmあけて貼り付けてください。
(右下図「●2枚目以降の貼り方」参照)

■3尺～6尺の場合

- 1枚貼りになります。(連結なし)
- ①大引き端部金具を大引き側にできるだけずらして、固定してください。
- ②最初に右側端部の床板を固定する時、大引き端部金具と床板側面を合わせてください。
床板の孔に合わせて大引きにφ3.5の下孔をあけ、φ4×50サラドリルネジで固定してください。

A部詳細図

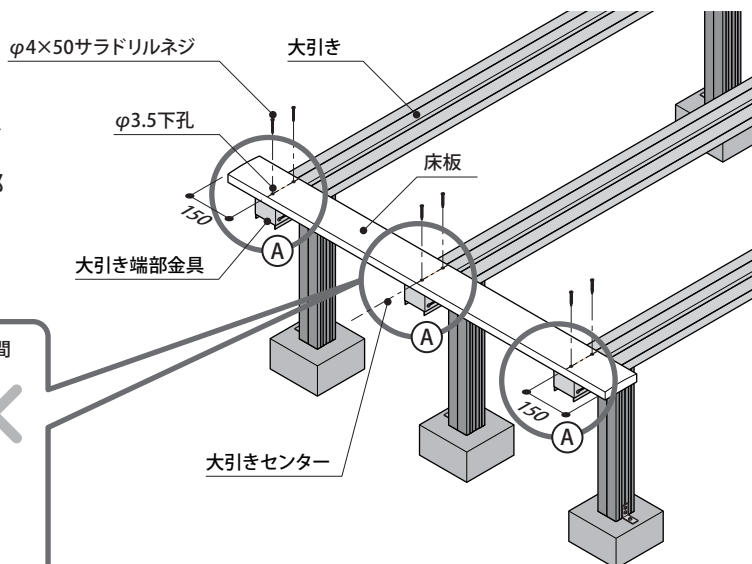
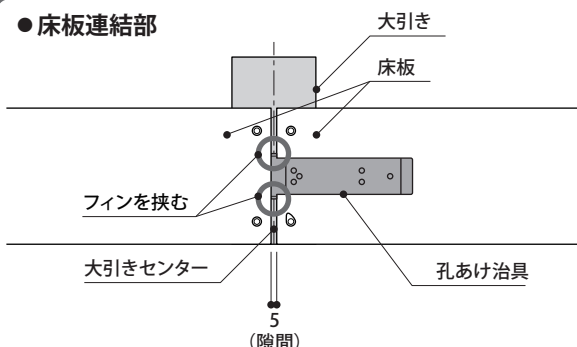


※大引き端部金具と床板側面を合わせてください。

■7尺～9尺の場合

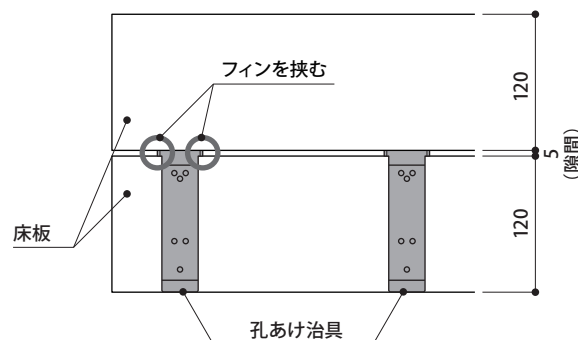
- 2枚貼りになります。(連結あり)
- 床板の連結は、4列の大引きの内、中2本の部分で交互に(千鳥貼り)行います。
- 千鳥貼りの貼り方はP11を参照して、貼り付けてください。
- ①床板連結部に孔あけ治具のフィンを使い、5mmの間隔をあけて貼り付けてください。(下図参照)
- ②床板の固定方法は「■3尺～6尺の場合」を参照し、右側端部から順番に貼り付けてください。

●床板連結部



●2枚目以降の貼り方 (隙間5mm)

2枚目以降は、孔あけ治具のフィンの部分を挟んで位置出し(5mmの隙間)、同じようにφ4×50サラドリルネジで固定してください。(下図参照)



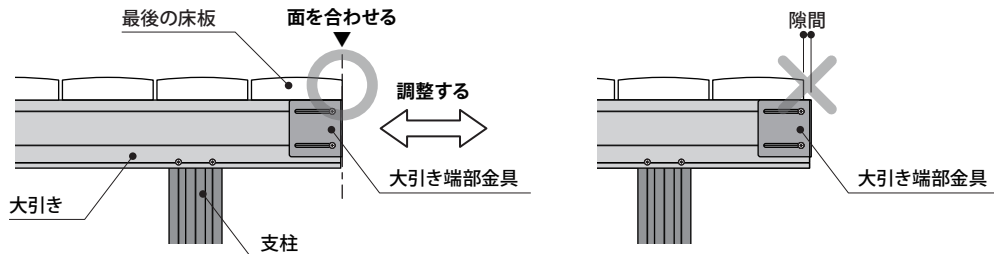
ご注意

最初に貼る床板(右側)は、奥側に長い床板を前面に短い床板を貼り付けてください。

3.床板の施工

6.大引き端部金具の調整

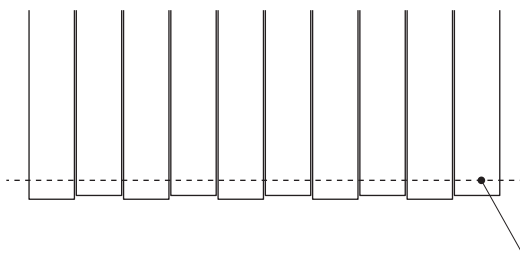
- ①最後の床板を貼る前に位置出しし、ネジ止めする前に床板側面と大引き端部金具が同面になるよう大引き端部金具の長孔で調整してください。
- ②大引き端部金具のネジ固定後、床板をφ4×50サラドリルネジで固定してください。



※大引き端部金具と床板側面を合わせてください。同面でない場合、幕板が固定できなくなります。

7.床板前面側小口面の確認及び加工

- ①天然木の為、長さにはばらつきがあります。床板貼り付け後、前面側の床板小口面が揃っているかご確認ください。揃っていない場合は、下記方法にてカットし揃えてください。



※床材上面がR加工の為、カットする場合は板（厚さ10mmくらい）を床板の上、又は丸ノコの下に敷くと加工しやすいです。

※カットした床板小口に、小口塗料を刷毛で必ず塗布してください。

参 照 P13「4.床板小口（カットした面）への塗料の塗布」

- 床板貼付け後、正面幕板を貼り付ける面が同面になっているか確認してください。同面になってない場合はカットして面を揃えてください。面が揃っていないと正面幕板を貼り付ける時、隙間が出る場合があります。

4.側面幕板の加工及び貼付け

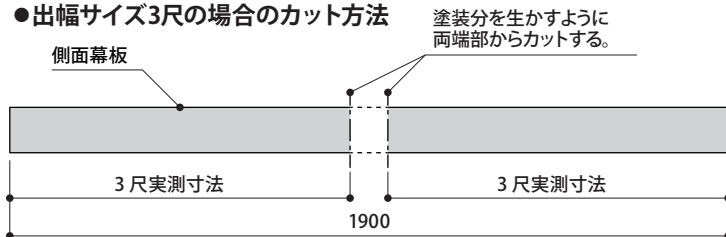
- 出幅サイズにより、幕板の貼り方が異なります。
下記参照にて、貼り付けてください。

1.出幅サイズ3尺～6尺の場合（1枚貼り・連結なし）

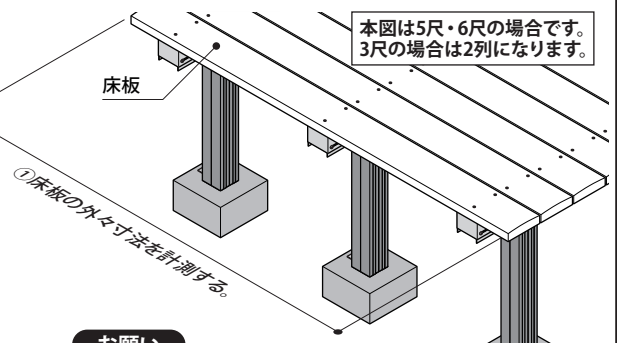
●側面幕板の加工

- ①組み付けした床板の外々寸法を計測し、
同じ長さに幕板（L=1900）をカットしてください。
※3尺の場合、1枚の幕板（L=1900）から2枚（両側分）とれます。
この場合、両端部から小口塗装分を生かすように両端部から計測し、カットしてください。（下図参照）

●出幅サイズ3尺の場合のカット方法



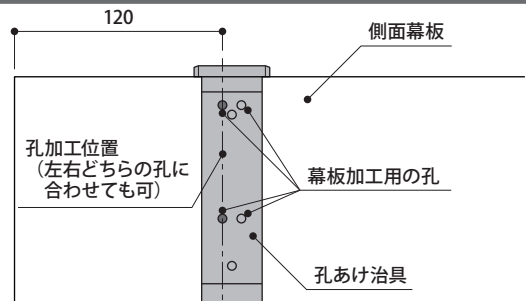
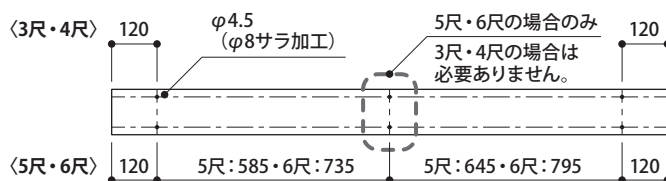
部材名	梱包名称
ヒバ材幕板L=1900	幕板（2枚入り）・（3枚入り）セット



お願い

幕板には表裏（木表、木裏）があります。角部R加工されているのが表（木表）になります。サラ加工は表面にしてください。

- ②下記参照にて、両端部に孔あけ治具でφ4.5の孔をあけ、
床板と同じようにφ8のサラ加工を施してください。
※必ず表面にサラ加工を施してください。



- ③貼り付ける前に、カットした幕板小口に、小口塗料を刷毛で必ず塗布してください。

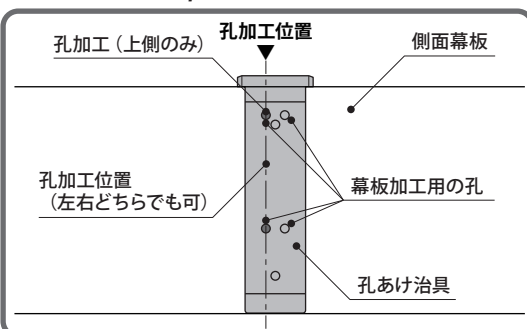
●側面幕板の貼付け

- ※貼り付ける前に、床板側面と大引き端部金具が同面であることを確認してください。

- ①側面幕板の前面側の面を床板の面に揃え、床板端部の高さに合わせてください。（B部詳細図、参照）
- ②幕板の孔に合わせてφ3.5の下孔をあけ、ネジ止めしてください。
※上側は床板に、下側は大引き端部金具にネジ止めする為、
上側と下側で組み付けるネジが違います。
上下間違えると貼り付けできません。
①上側：φ4.2×65フレキコースレッド
②下側：φ4×50サドルリルネジ

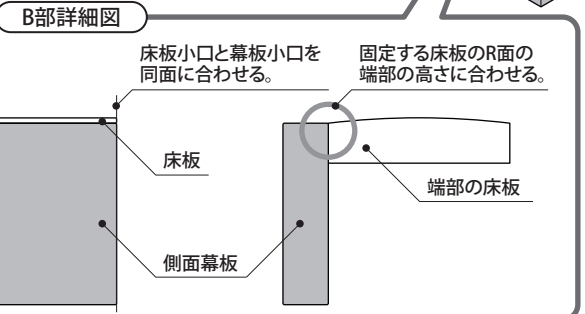
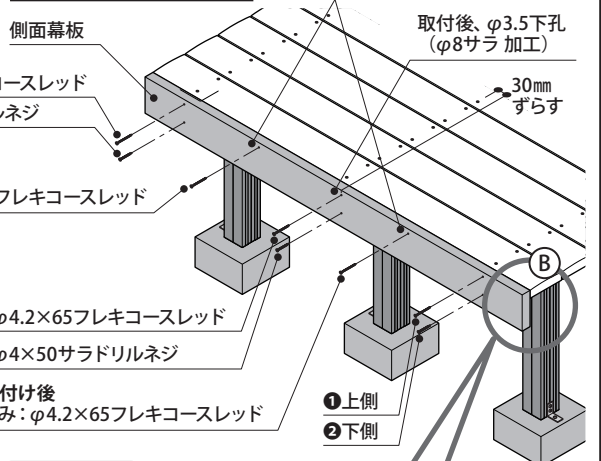
- ③4尺・5尺・6尺の場合、大引き部にネジ止め後
ネジ止めた各センター部に、孔あけ治具でφ3.5の
下孔をあけ（上側のみ）、サラ加工後ネジ止めして
ください。（3尺は必要ありません）

- ※表裏を間違えないでください。必ず表面（角部R加工側）
にサラ加工（φ8）を施してください。



部材名	梱包名称
φ4×50サドルリルネジ	大引き端部金具（2個入り）・（3個入り）セット
φ4.2×65フレキコースレッド	

本図は5尺・6尺の場合です。
3尺の場合は2列になります。



- ④反対側の側面幕板も同じように加工し、ネジ止めしてください。

4.側面幕板の加工及び貼付け

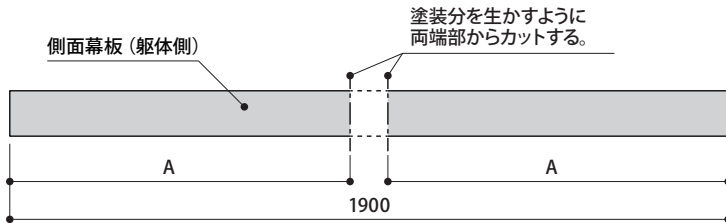
2.出幅サイズ7尺～9尺の場合（2枚貼り・連結あり）

※躯体側から2番目の大引きセンターで連結してください。

●側面幕板（躯体側）の加工

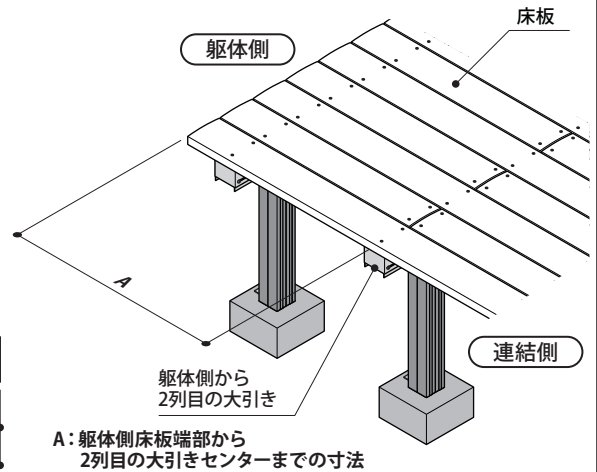
①最初に貼り付ける幕板の右記寸法A（床板の躯体側から2列目の大引きセンターまでの寸法）を計測し、同じ長さで幕板（L=1900）をカットしてください。

※1枚の幕板（L=1900）から2枚（両側分）取れます。この場合、両端部から小口塗装分を生かすように両端部から計算し、カットしてください。

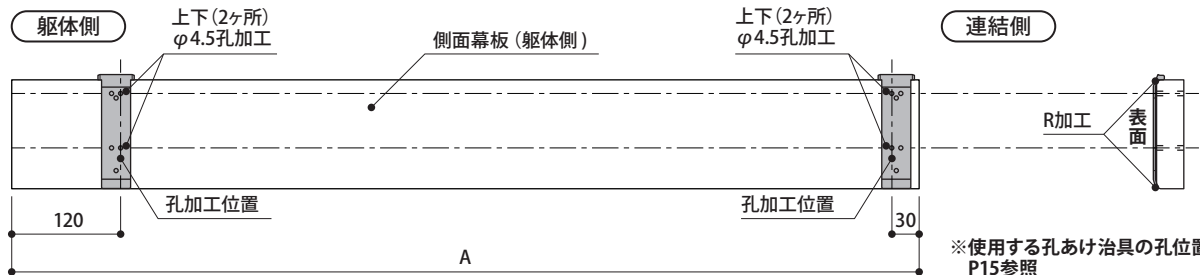


ご注意

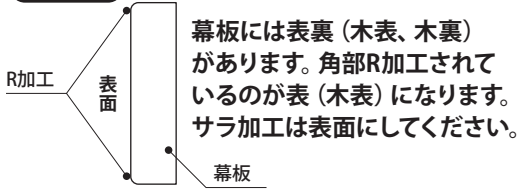
連結位置において、側面幕板の連結位置と幕板を貼り付ける床板の連結位置が、同じ位置にこないようにしてください。



②下記位置に、孔あけ治具の幕板加工用に孔（左右どちらか）を合わせ、φ4.5の孔を4ヶ所あけてください。



お願い



③幕板にあげたφ4.5の孔に、サラ加工（φ8）を施してください。

④貼り付ける前に、カットした幕板小口に、小口塗料を刷毛で必ず塗布してください。

●側面幕板（躯体側）の貼付け

※貼り付ける前に、床板側面と大引き端部金具が同面であることを確認してください。

①右記参照にて、3尺～6尺（1枚貼り）と同じように側面幕板（躯体側）を床板の小口に揃え、上側の孔は床板側面に、下側の孔は躯体側1列目と2列目の大引き端部金具にネジ止めしてください。

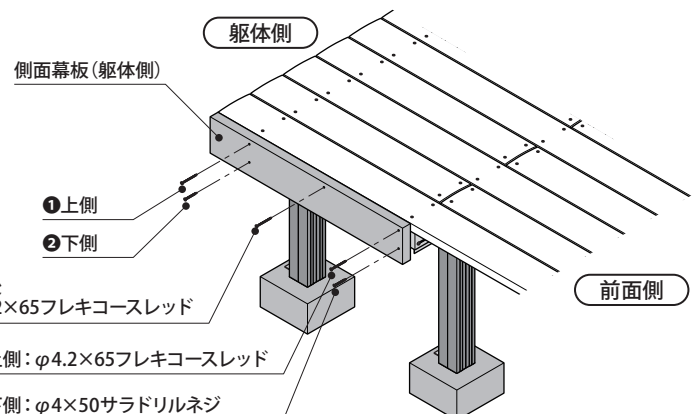
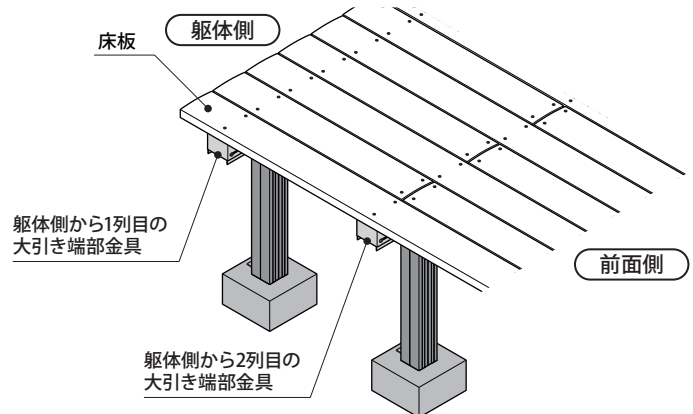
※上側と下側で組み付けるネジが違います。上下間違えると貼り付けできません。

①上側：φ4.2×65フレキコースレッド

②下側：φ4×50サラドリルネジ

②幕板センター部に孔あけ治具の幕板加工孔（左右どちらでも可）をあて、孔位置に合わせφ3.5の孔をあけ、（φ8サラ加工）ネジ止めしてください。（上側のみ）

③反対側の側面幕板も同じように加工し、ネジ止めしてください。



4.側面幕板の加工及び貼付け

●側面幕板（前面側）の加工

- ①C寸法（貼り付けした幕板（躯体側）から床板小口までの寸法）を計測し、同じ長さに幕板（L=1900）をカットしてください。

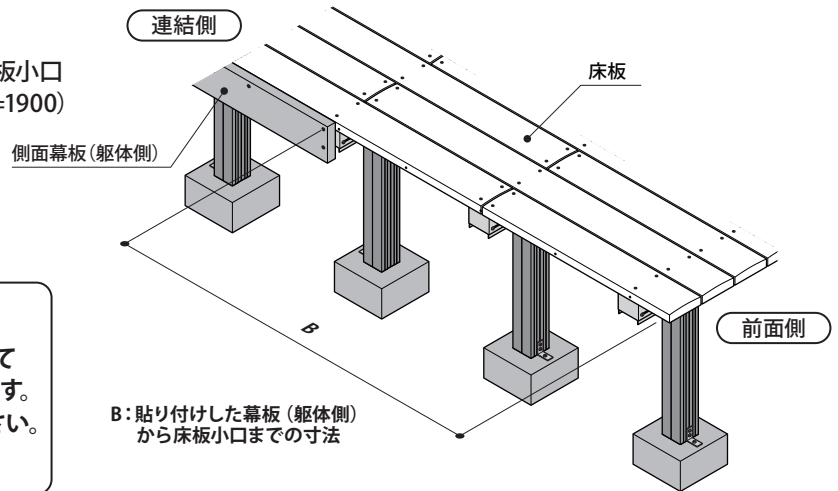
お願い

R加工

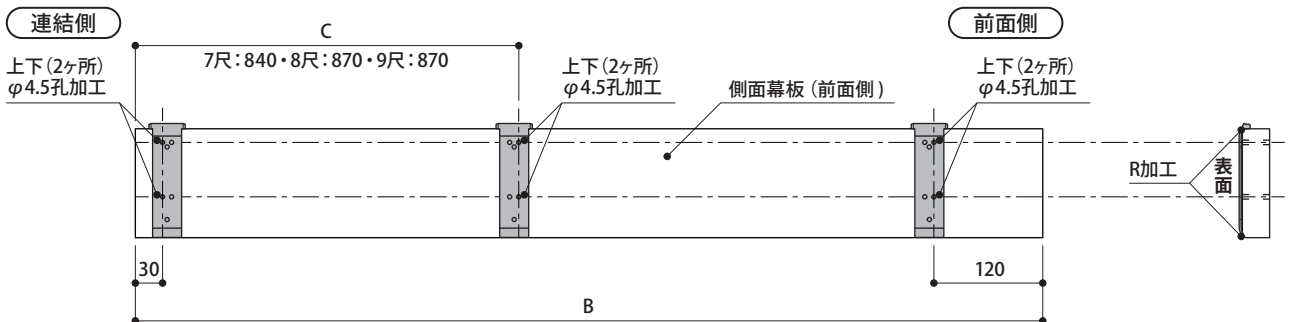
表面

幕板には表裏（木表、木裏）があります。角部R加工されているのが表（木表）になります。サラ加工は表面にしてください。

幕板



- ②下記位置に、孔あけ治具の幕板加工用の孔（左右どちらでも可）を合わせ、 $\phi 4.5$ の孔を4ヶ所あけてください。



- ③幕板にあけた $\phi 4.5$ の孔の表面側に、サラ加工（ $\phi 8$ ）を施してください。

- ④貼り付ける前に、カットした幕板小口に、小口塗料を刷毛で必ず塗布してください。

●側面幕板（前面側）の貼付け

- ①右記参照にて、幕板（躯体側）と幕板の高さを合わせ、同じように幕板（前面側）を床板の小口に揃え、 $\phi 3.5$ の孔を床板側面及び、大引き端部金具にあけネジ止めしてください。
- ②貼付け後、幕板センター部に孔あけ治具の幕板加工孔をあて、孔位置に合わせ $\phi 3.5$ の孔をあけ、（ $\phi 8$ サラ加工）ネジ止めしてください。（上側のみ）

①上側

②下側

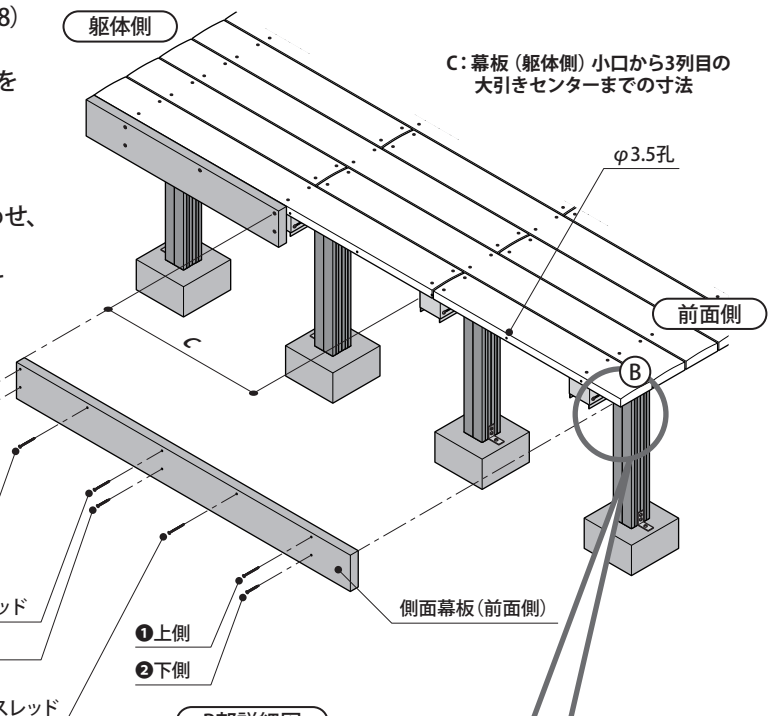
※幕板貼り付け後
①上側のみ

①上側： $\phi 4.2 \times 65$ フレキコースレッド

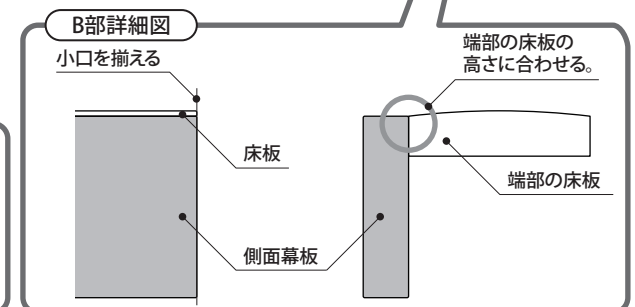
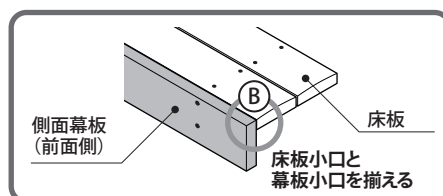
②下側： $\phi 4 \times 50$ サドルリルネジ

※幕板貼り付け後

①上側のみ： $\phi 4.2 \times 65$ フレキコースレッド



- ③反対側の側面幕板（前面側）も同じように加工し、ネジ止めしてください。



5.正面幕板の加工及び貼付け

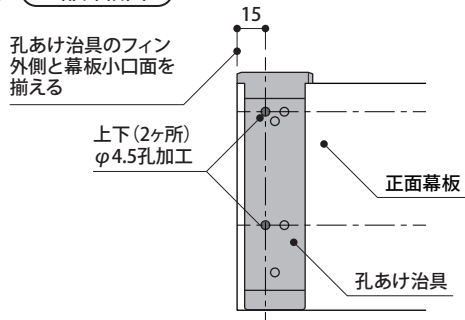
- 間口サイズにより、幕板の貼り方が異なります。
下記参照にて、貼り付けてください。

1.間口サイズ1.0間の場合 (1枚貼り・連結なし)

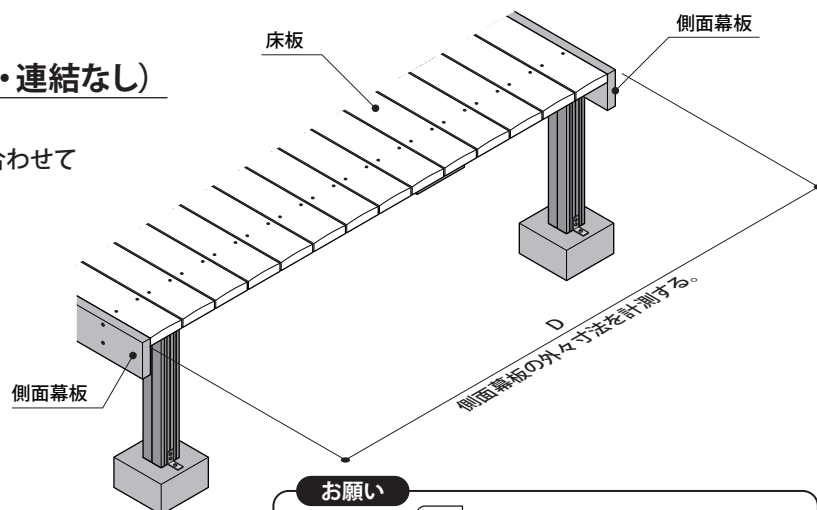
●正面幕板の加工

- ①側面幕板の外々寸法 (D) を計測し、寸法に合わせて幕板 (L=1900) をカットしてください。

C部詳細図



本図は左側端部加工の場合です。



お願い

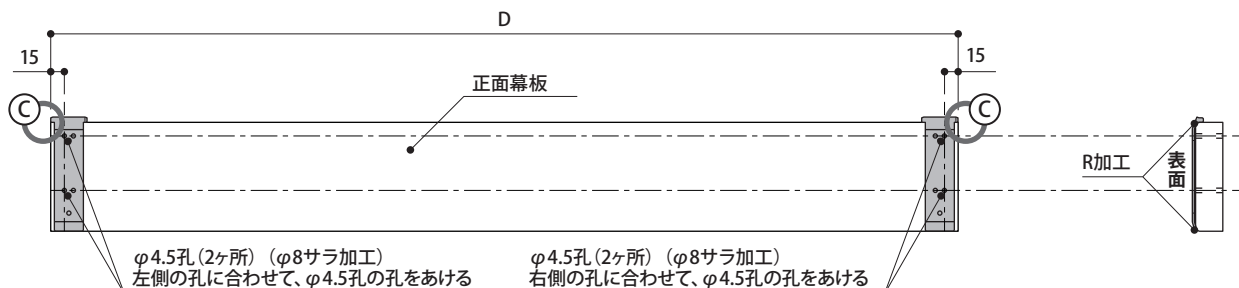
R加工

表面

幕板には表裏 (木表、木裏) があります。角部R加工されているのが表 (木表) になります。サラ加工は表面にしてください。

幕板

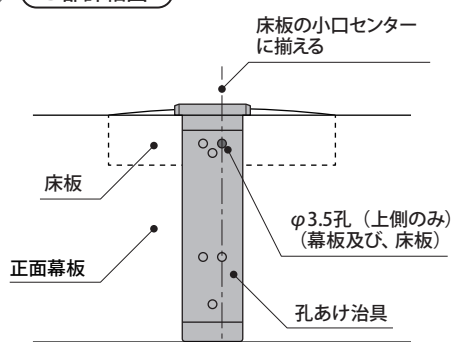
- ②下記位置に、孔あけ治具を使ってφ4.5の孔を4ヶ所あけてください。



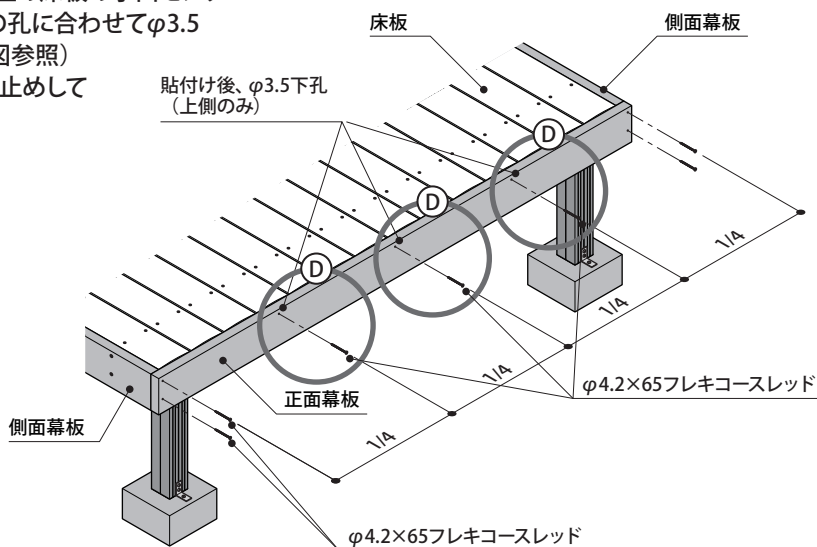
●正面幕板の貼付け

- ①側面幕板の外表面及び、上面に合わせて位置出しし、幕板の孔に合わせて側面幕板の小口にφ3.5下孔をあけ、ネジ止めしてください。
※ネジは上下両方ともφ4.2×65フレキコースレッドになります。
- ②両端部にネジ止め後、おおよそ4等分の位置の床板の小口センター部に孔あけ治具をあて (D図参照)、上側の孔に合わせてφ3.5の孔を床板まで通してあげてください。(下図参照)
- ③幕板のφ4.5の孔にφ8のサラ加工後、ネジ止めしてください。

D部詳細図



貼付け後、φ3.5下孔 (上側のみ)



部材名	梱包名称
φ4.2×65フレキコースレッド	正面幕板固定金具 (1セット入り)

5.正面幕板の加工及び貼付け

2.間口サイズ1.5間～5.0間の場合（複数枚貼り・連結あり）

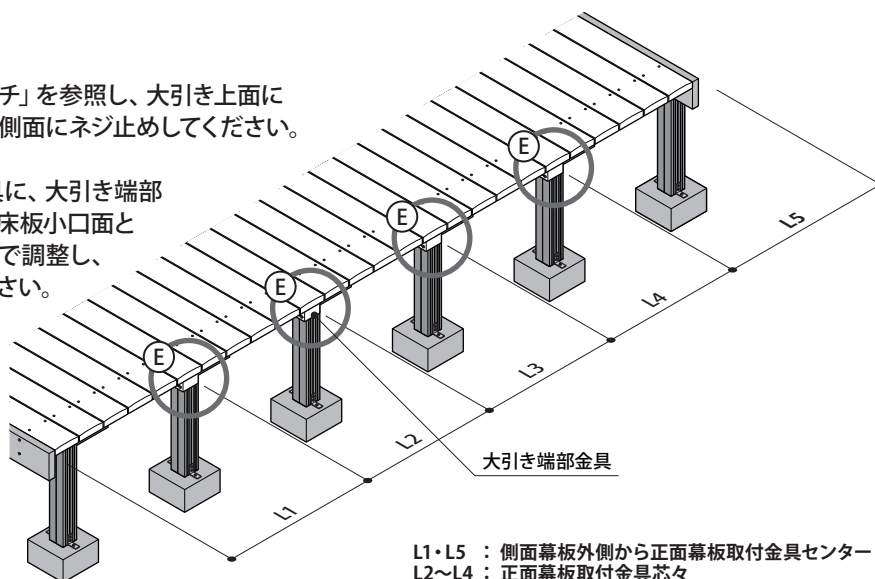
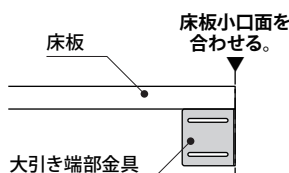
- 複数枚貼り…1.5間・2.0間：2枚、2.5間・3.0間：3枚、3.5間・4.0間：4枚、4.5間・5.0間：5枚連結
- 正面幕板連結部には、正面幕板取付金具及び大引き端部金具が必要になります。

●正面幕板取付金具の取付

- ①下記の「■正面幕板取付金具取付ピッチ」を参照し、大引き上面に合わせて、正面幕板取付金具を大引き側面にネジ止めしてください。（E部詳細図、参照）
- ②大引きに取り付けた正面幕板取付金具に、大引き端部金具をネジ止めしてください。その時、床板小口面と大引き端部金具が同面になるよう長孔で調整し、 $\phi 4 \times 16$ ナベドリルネジで固定してください。（下図参照）

お願い

- ※必ず、床板小口面と大引き端部金具を同面にしてください。



L1・L5 : 側面幕板外側から正面幕板取付金具センター
L2～L4 : 正面幕板取付金具芯々

■正面幕板取付金具の取付ピッチ及び幕板寸法表

間口寸法	正面幕板数量	金具取付位置及び、正面幕板の切断長さ				
		L1	L2	L3	L4	L5
1.5間	2	1900	-	-	-	780
2.0間	2	1900	-	-	-	1655
2.5間	3	1900	1190	-	-	1340
3.0間	3	1900	1815	-	-	1590
3.5間	4	1900	1815	1250	-	1215
4.0間	4	1900	1815	1875	-	1465
4.5間	5	1900	1815	1875	1250	1080
5.0間	5	1900	1815	1875	1875	1340

●正面幕板の加工

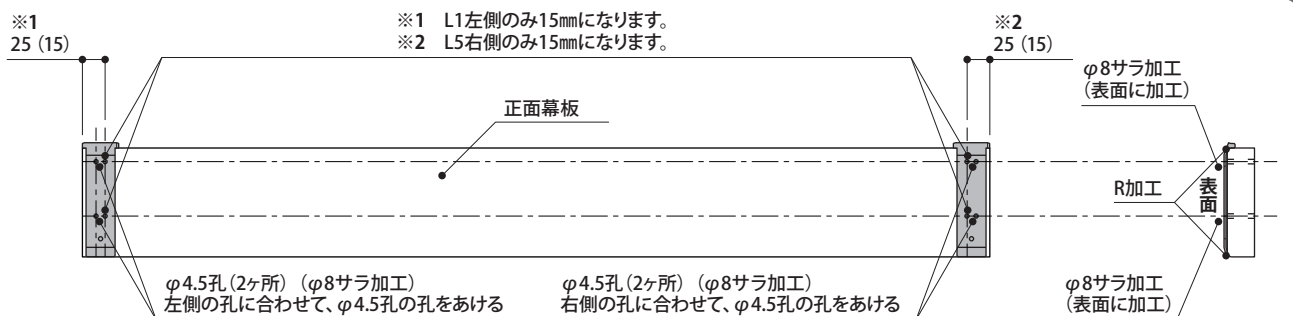
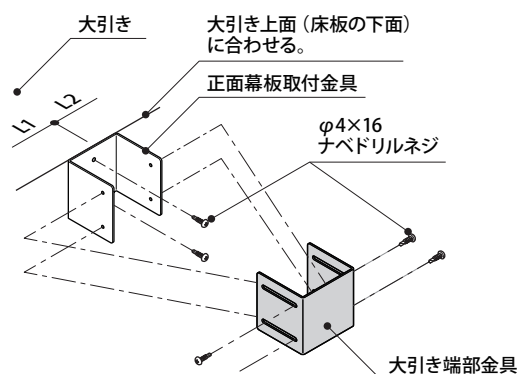
- ①間口寸法により、幕板（L=1900）を上記の表を参照に必要な数（L1～L4）をカットしてください。（L1=1900）はカットする必要はありません。

お願い

- ※最後に貼る幕板L5の長さは参考値です。他の幕板を貼付け後、必ず幕板小口から側面幕板外面までの寸法を計測し、その寸法に合わせてカットしてください。

- ②カット後、両端部に孔あけ治具を使って上下2ヶ所に $\phi 4.5$ の孔をあけ、 $\phi 8$ のサ加工（表面）を施してください。

E部詳細図



※孔位置は、幕板を連結するE部は25mm、側面幕板の小口にネジ止める両側端部（L1左側・L5右側のみ）は15mmになります。

5.正面幕板の加工及び貼付け

●正面幕板の貼付け

- ①下記参照にて、端部L1から順番に幕板の孔に合わせて側面幕板・床板の小口及び大引き端部金具に $\phi 3.5$ 下孔をあけ、ネジ止めしてください。

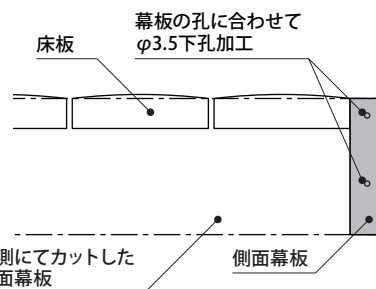
※F部（正面幕板両端部）とG部（正面幕板連結部）で組み付けるネジが違います。

F部（正面幕板両端部）：①上側： $\phi 4.2 \times 65$ フレキコースレッド
②下側： $\phi 4.2 \times 65$ フレキコースレッド

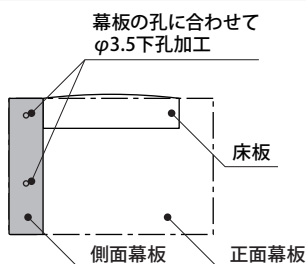
G部（正面幕板連結部）：①上側： $\phi 4.2 \times 65$ フレキコースレッド
②下側： $\phi 4 \times 50$ サラドリルネジ

部材名	梱包名称
$\phi 4 \times 50$ サラドリルネジ	正面幕板固定金具 (1セット入り)
$\phi 4.2 \times 65$ フレキコースレッド	

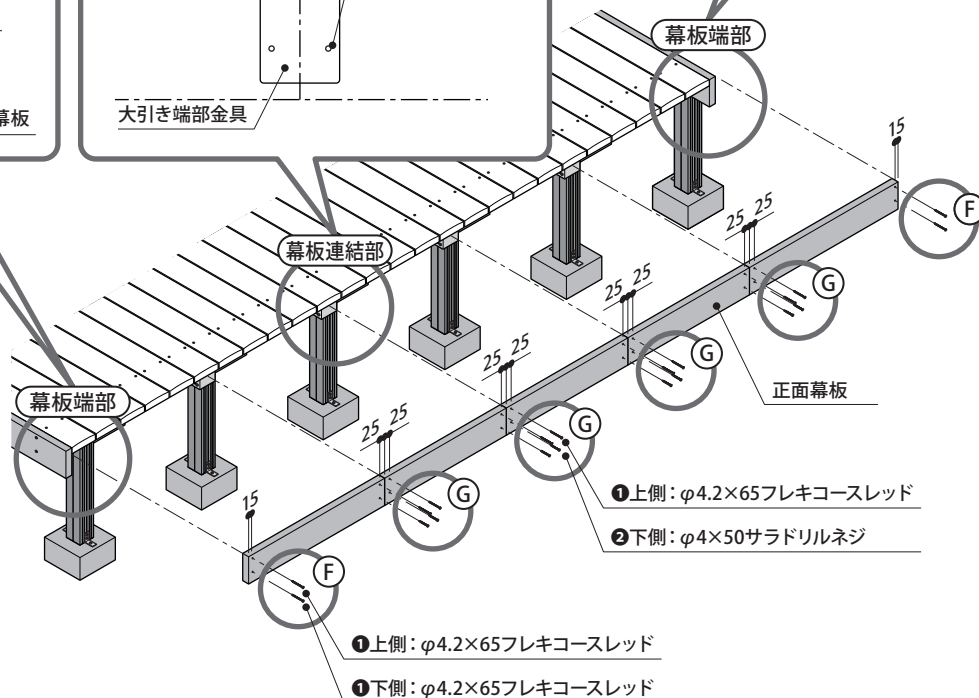
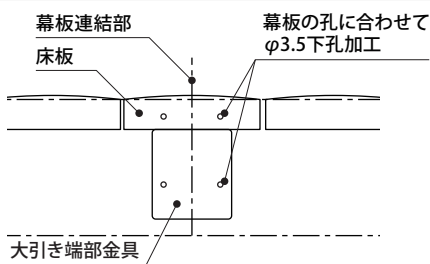
正面幕板端部（最後の貼付け側）



正面幕板端部（最初の貼付け側）



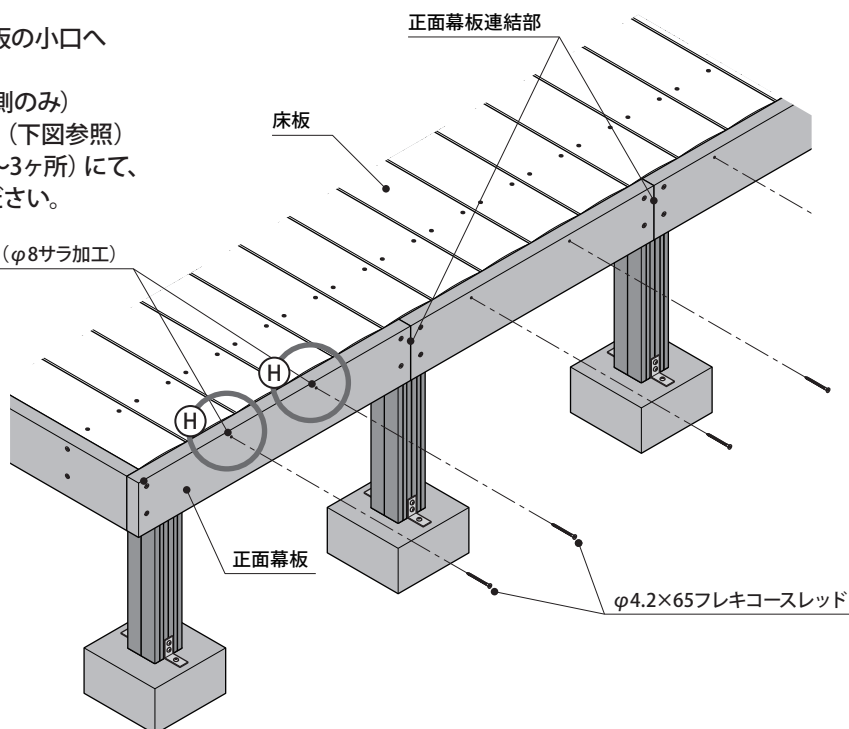
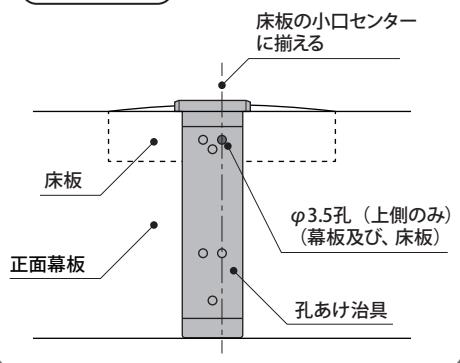
正面幕板連結部



●正面幕板の床板小口へのネジ固定

- ①各正面幕板貼り付け後、下記参照にて床板の小口へネジ止めしてください。（上側のみ）
②孔あけ治具を使って $\phi 3.5$ の孔をあけ（上側のみ）
 $\phi 8$ のサラ加工後、ネジ止めしてください。（下図参照）
③ネジ止めピッチは500以下（各幕板2ヶ所～3ヶ所）にて、床板の小口センター部にネジ止めしてください。

H部詳細図



6.ステップの施工

1.ステップの種類及び組み合わせ

- ステップは、大引きと束柱の固定方法により下記2種類があり、それぞれの組み合わせになります。

■種類

- 1.ステップ用フレームA (束柱連結用) (P23参照)
デッキ本体の束柱とステップ用束柱に固定する方法 (P23参照)
- 2.ステップ用フレームB (独立用) (P23参照)
両方ともステップ用束柱に固定する方法 (P23参照)

■組み合わせ

- 1.両側ステップ用フレームA (束柱連結用)
- 2.両側ステップ用フレームB (独立用)
- 3.ステップ用フレームA (束柱連結用) +ステップ用フレームB (独立用)

■その他の仕様

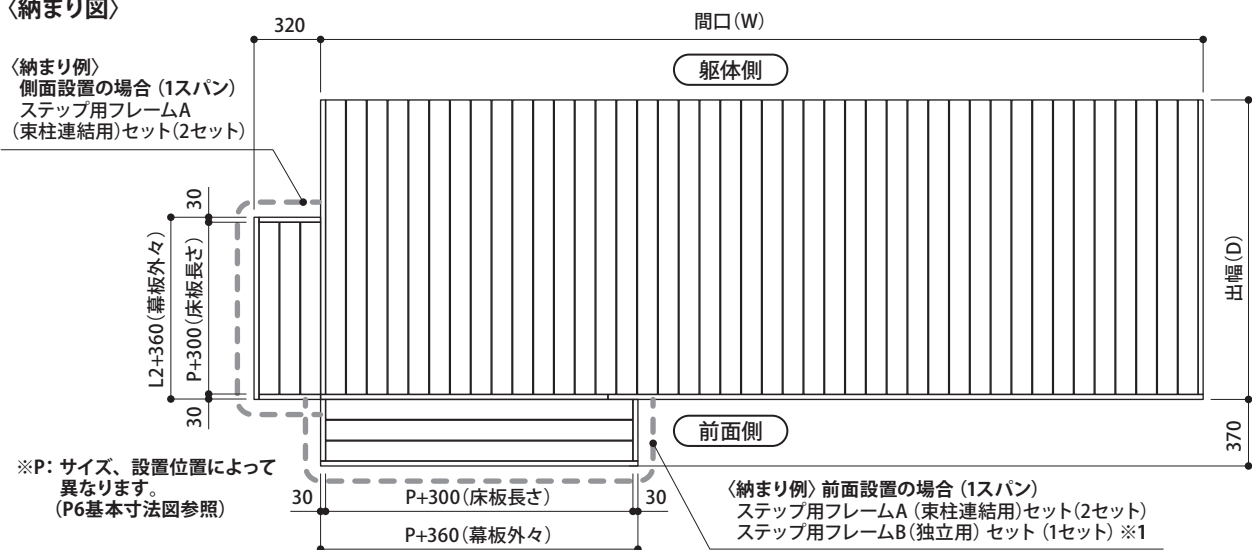
- 大引き最大ピッチは900です。
その為、「両側ステップ用フレームA (束柱連結用)」を前面に設置する場合、デッキの束柱ピッチが900を超える為、間に必ず「両側ステップ用フレームB (独立用)」を設置してください。(下図参照)
- ステップ用床板は3列になります。(詳細図参照) ステップの長さに合わせて床板及び、幕板を別途用意してください。

1.両側ステップ用フレームA (束柱連結用) の場合

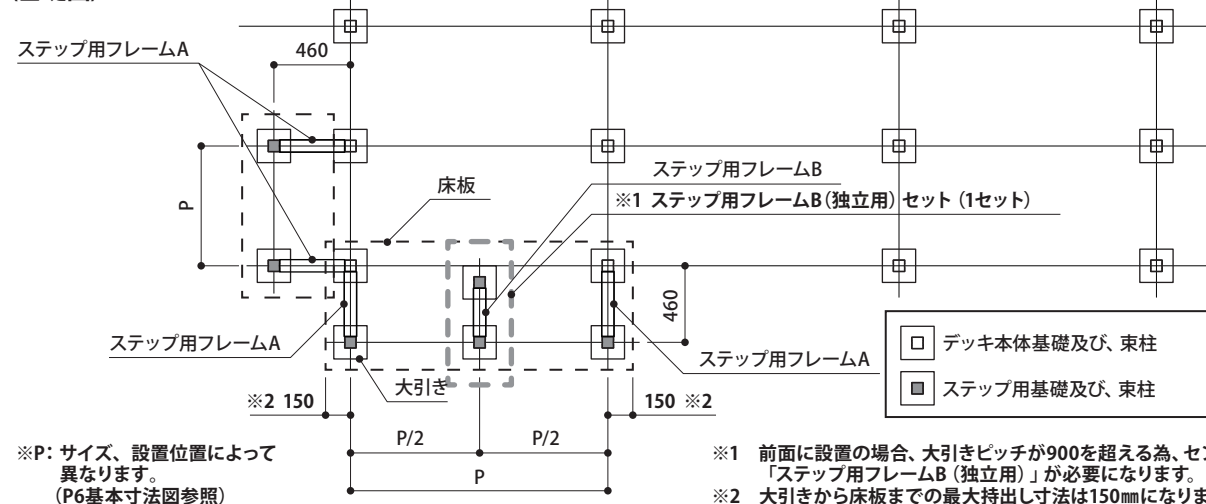
- ヒバデッキ本体の束柱に固定する為、ステップの長さが限定されます。
- ステップを設置する位置 (側面・前面) により仕様が異なり、前面に設置する場合はデッキの束柱ピッチが900を超える為、センターに「ステップ用フレームB (独立用)」が必要になります。(下図参照)

〈納まり図〉

〈納まり例〉
側面設置の場合 (1スパン)
ステップ用フレームA
(束柱連結用) セット (2セット)



〈基礎図〉

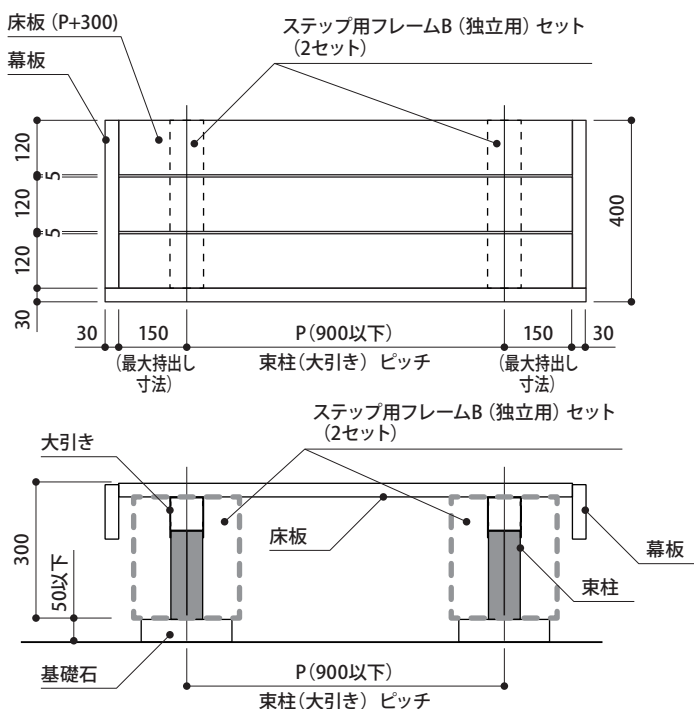


6.ステップの施工

2.両側ステップ用フレームB(独立用)の場合

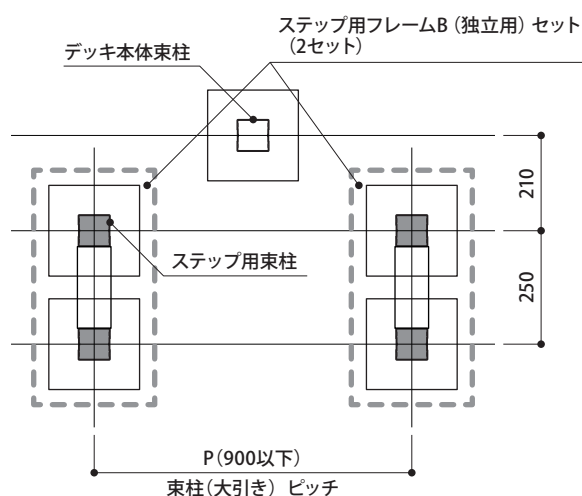
- デッキ本体の束柱に関係なく設置が可能です。
ただし大引きのピッチを900以下にしてください。(下図参照)

〈床板・幕板寸法図〉



※デッキ本体からの持出し寸法は「ステップ用フレームA(束柱連結用)」と同じです。(P21参照)

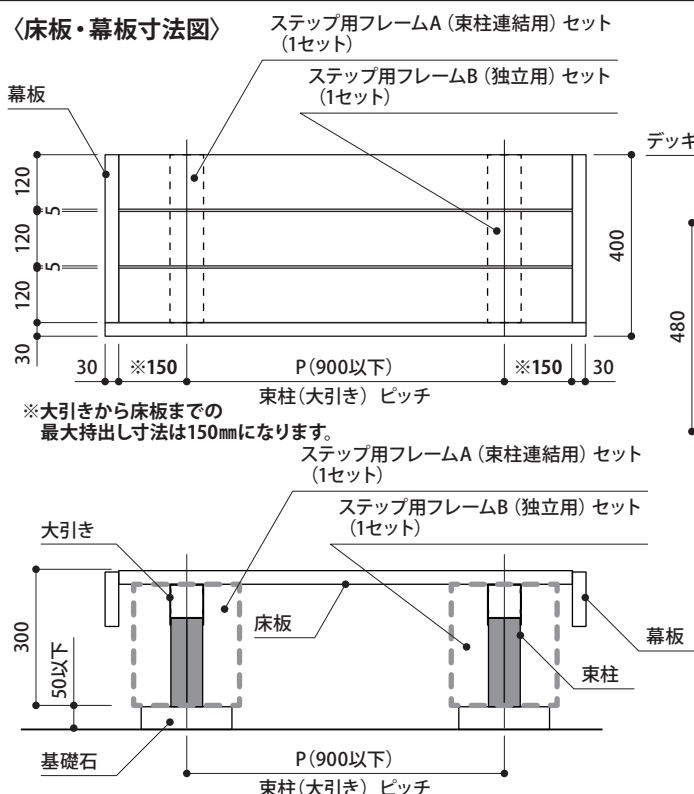
〈ステップ用基礎石・束柱寸法図〉



3.ステップ用フレームA(束柱連結用)+ステップ用フレームB(独立用)の場合

- 「ステップ用フレームA(束柱連結用)」はデッキ本体束柱に固定し、「ステップ用フレームB(独立用)」はステップ用束柱に固定します。

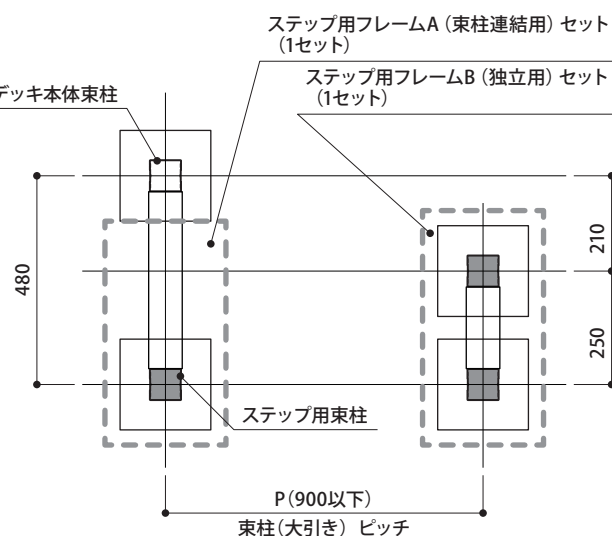
〈床板・幕板寸法図〉



※大引きから床板までの最大持出し寸法は150mmになります。

※デッキ本体からの持出し寸法は「ステップ用フレームA(束柱連結用)」と同じです。(P21参照)

〈ステップ用基礎石・束柱寸法図〉



6.ステップの施工

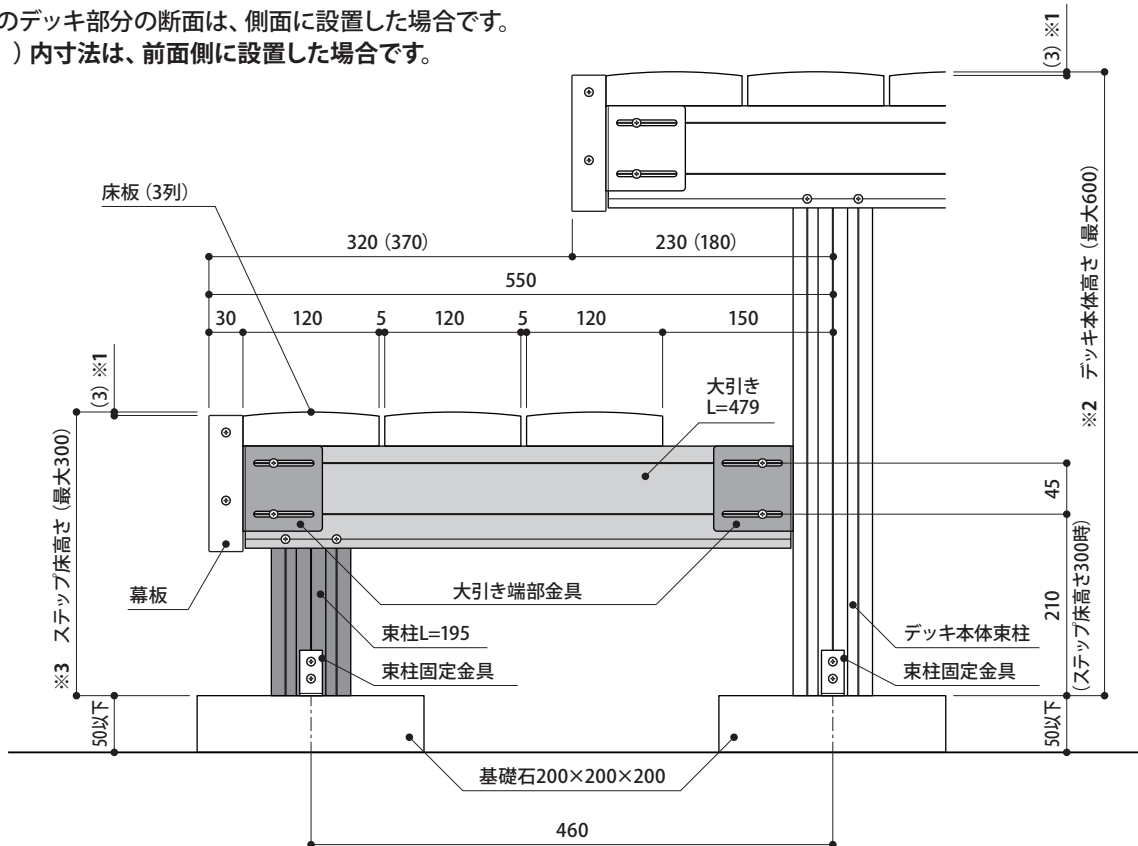
2.詳細納まり図

●ステップ用フレームA (束柱連結用) の場合

●本図のデッキ部分の断面は、側面に設置した場合です。

※ () 内寸法は、前面側に設置した場合です。

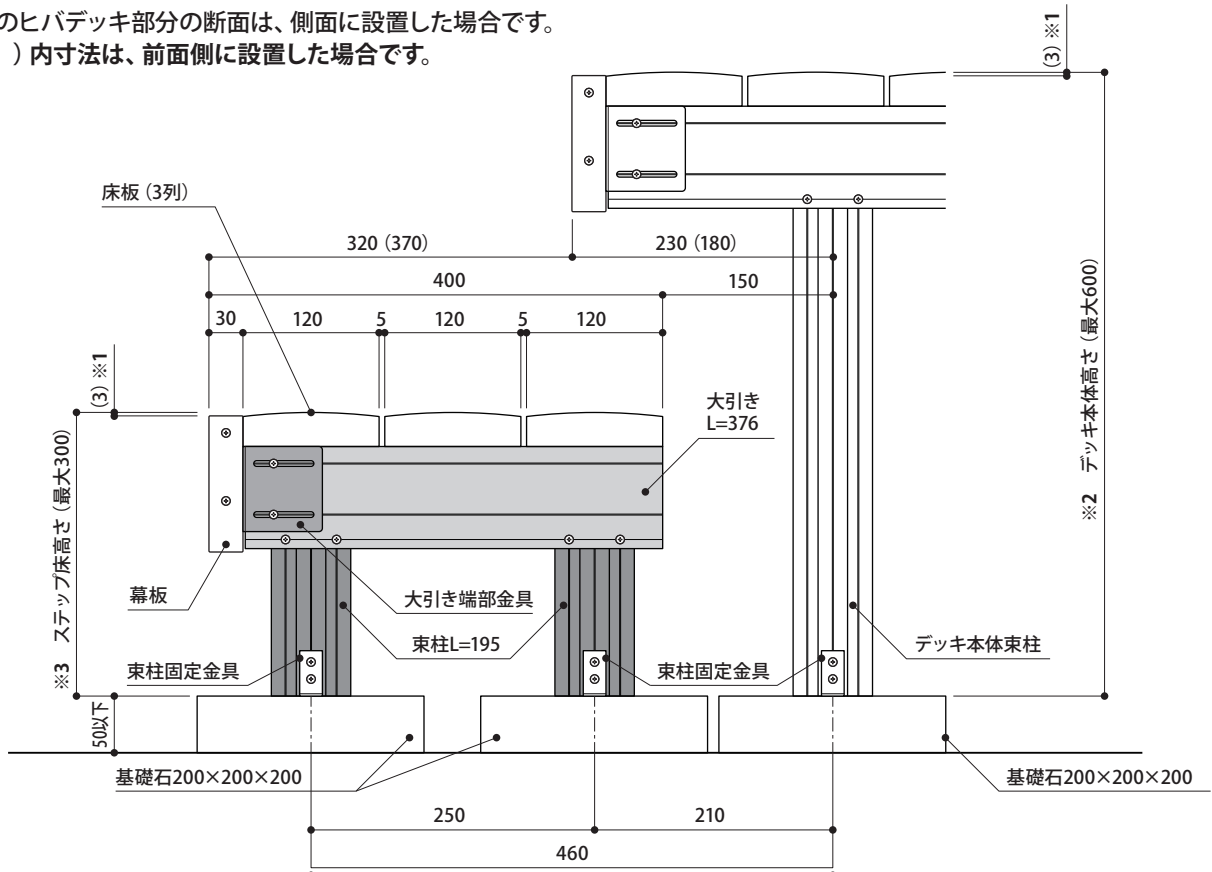
- ※1 床板最上部 (R部) と幕板上面との寸法になります。
 ※2 基礎石上面よりデッキ床板上面までの寸法になります。
 ※3 基礎石上面よりステップ床板上面までの寸法になります。



●ステップ用フレームB (独立用) の場合

●本図のヒバデッキ部分の断面は、側面に設置した場合です。

※ () 内寸法は、前面側に設置した場合です。



6.ステップの施工

3.基礎施工

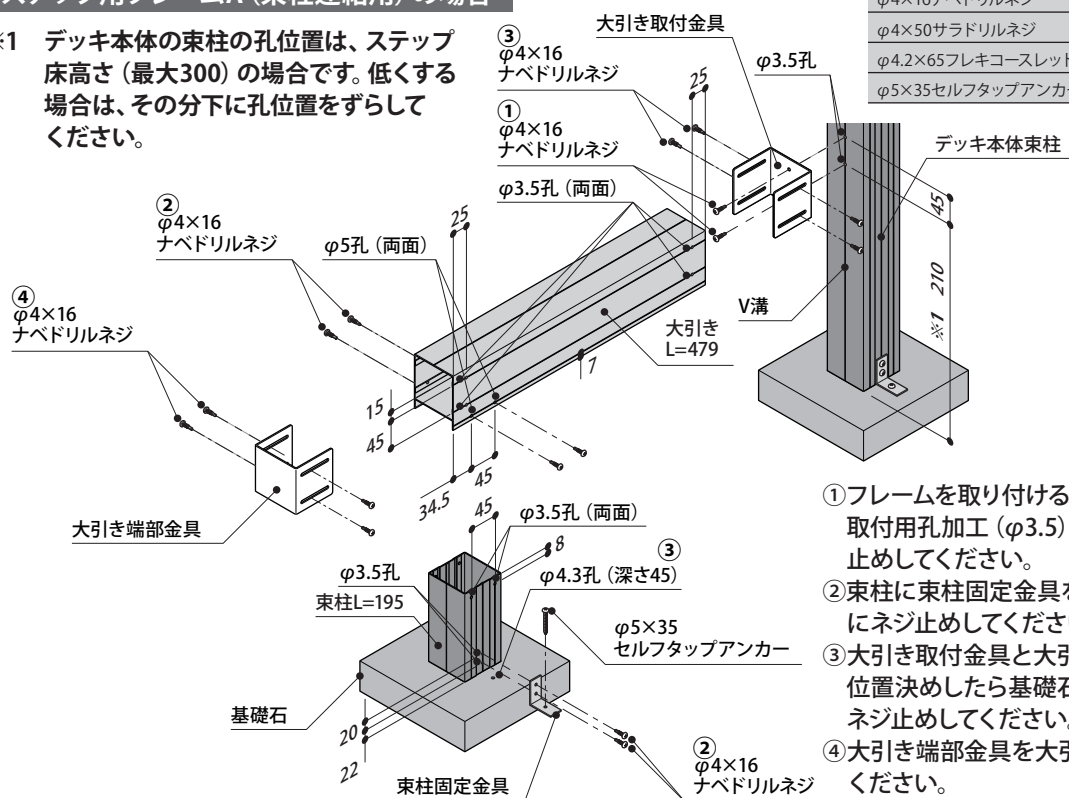
- ①デッキ本体の基礎施工と同時に行ってください。
- ②ステップフレームの仕様により、基礎位置が異なります。各仕様の〈ステップ用基礎石・束柱寸法図〉を参照して施工してください。(P21参照)
- ③束柱は床板高さ300(基礎石上面より)にカットされています。低くする場合はカットし、束柱固定金具を取り付けてください。

4.大引きと束柱の組付

- デッキ本体の束柱・大引きと同時に組み付けてください。
- 「ステップ用フレームA(束柱連結用)」と「ステップ用フレームB(独立用)」で組み付け方が異なります。下図参照にて組み付けてください。

●ステップ用フレームA(束柱連結用)の場合

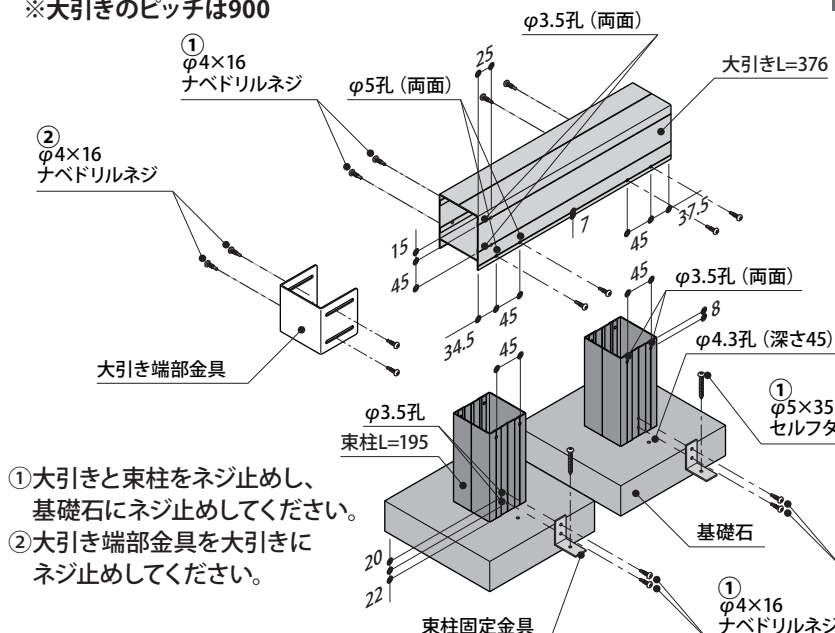
- ※1 デッキ本体の束柱の孔位置は、ステップ床高さ(最大300)の場合です。低くする場合は、その分下に孔位置をずらしてください。



- ①フレームを取り付けるデッキ本体の束柱に、取付用孔加工(φ3.5)(左図参照)し、ネジ止めしてください。
- ②束柱に束柱固定金具をネジ止めし、大引きにネジ止めしてください。
- ③大引き取付金具と大引きをネジ止めし、位置決めしたら基礎石にφ4.3孔をあけ、ネジ止めしてください。
- ④大引き端部金具を大引きにネジ止めしてください。

●ステップ用フレームB(独立用)の場合

※大引きのピッチは900



- ①大引きと束柱をネジ止めし、基礎石にネジ止めしてください。
- ②大引き端部金具を大引きにネジ止めしてください。

●ステップ用フレームA(束柱連結用) + ステップ用フレームB(独立用)の場合

- ※「ステップ用フレームA(束柱連結用)」と「ステップ用フレームB(独立用)」を参照に組み付けてください。
A・B左右どちらでもかかいます。

- ステップ用フレームA(束柱連結用)は、必ずデッキ本体の束柱に固定してください。
- ステップ用フレームB(独立用)は、ステップの長さに合わせて位置決めしてください。床板持ち出し寸法は150になります。

部材名	梱包名称
大引きL=479	ステップ用フレームA (束柱連結用) セット
束柱L=195	
大引き端部金具	
大引き取付金具	
束柱固定金具	
φ4×16ナベドリルネジ	
φ4×50サドルネジ	
φ4.2×65フレキコースレッド	ステップ用フレームB (独立用) セット
φ5×35セルフタッパアンカー	
大引きL=376	
束柱L=195	
大引き端部金具	
束柱固定金具	
φ4×16ナベドリルネジ	
φ4×50サドルネジ	
φ4.2×65フレキコースレッド	
φ5×35セルフタッパアンカー	

7.アルミ幕板の施工 (デッキ本体)

床板の施工までは、ヒバ材幕板と同じです。

P6「基本寸法図」～P14「3.床板の施工」を参照に施工・組付を行ってください。

①側面アルミ幕板の加工及び貼付け

- 出幅サイズにより、アルミ幕板の貼り方が異なります。
下記参照にて、貼り付けてください。

1.出幅サイズ3尺～6尺の場合 (1枚貼り・連結なし)

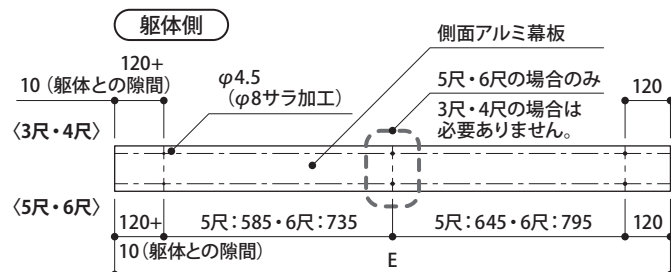
●側面アルミ幕板の加工

- ①E寸法 (躯体から床板の小口まで) を計測し、その寸法に合わせてアルミ幕板 (L=1900) をカットしてください。

※躯体にアルミ幕板をつき合わせて、隙間のないように貼り付けてください。

- ②P15を参照して下記寸法にて、両端部及びセンター部 (5尺・6尺のみ) に孔あけ治具で4.5の孔をあけてください。

※φ8のサラ加工は必要ありません



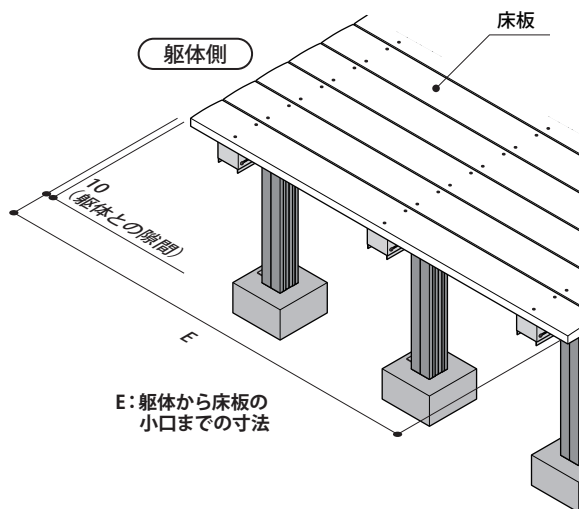
※躯体側の孔位置は、120+10 (躯体との隙間10mmの場合) になります。

●側面アルミ幕板の貼付け

- ①P15を参照して、側面アルミ幕板を貼り付けてください。
※取り付けネジは、上側も下側もφ4×50トラスタッピングネジ1種です。
※取り付け後のセンター部 (上側のみ) のネジ止めは必要ありません。

部材名	梱包名称
アルミ幕板L=1900 φ4×50トラスタッピングネジ1種	アルミ幕板 (2枚入り) ・ (3枚入り) セット

本図は5尺・6尺の場合です。
3尺の場合は2列になります。



2.出幅サイズ7尺～9尺の場合 (2枚貼り・連結あり)

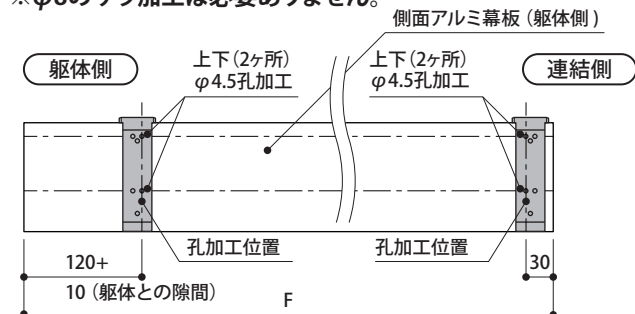
●側面アルミ幕板 (躯体側) の加工

- ①F寸法 (躯体から2列目の大引きセンターまで) を計測し、その寸法に合わせてアルミ幕板 (L=1900) をカットしてください。

※1枚のアルミ幕板 (L=1900) から2枚 (両側分) 取れます。

- ②P15を参照して、側面アルミ幕板に孔あけ治具を使ってφ4.5の孔をあけてください。

※φ8のサラ加工は必要ありません。

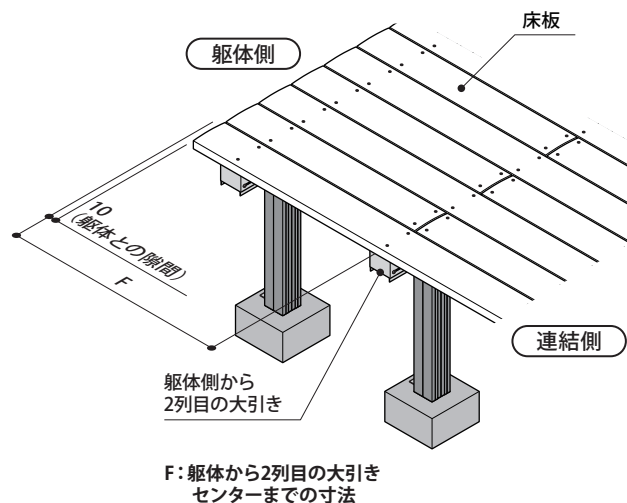


※躯体側の孔位置は、120+10 (躯体との隙間10mmの場合) になります。

●側面アルミ幕板 (躯体側) の貼付け

- ①P15を参照して、アルミ幕板の孔位置に合わせ床板側面及び大引き端部金具にφ3.5の下孔をあけ、側面アルミ幕板を貼り付けてください。
※取り付けネジは、上側も下側もφ4×50トラスタッピングネジ1種です。
※取り付け後のセンター部 (上側のみ) のネジ止めは必要ありません。

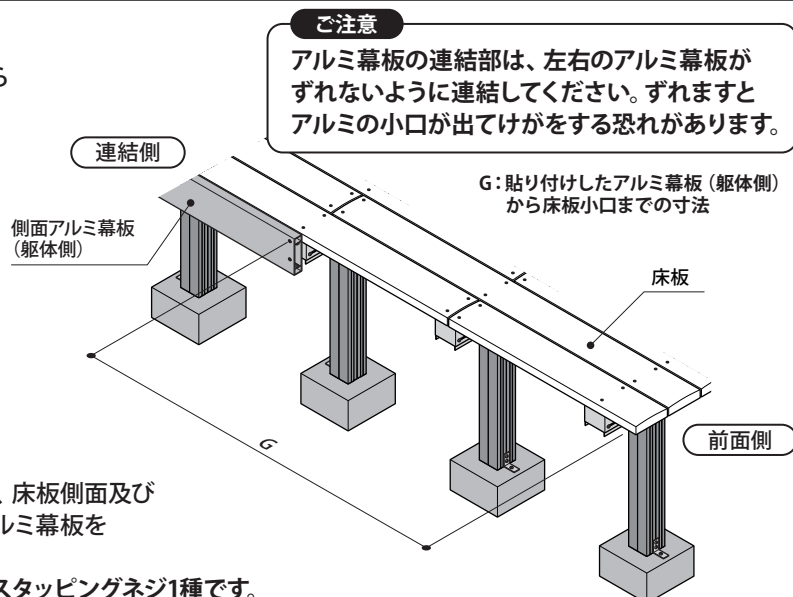
部材名	梱包名称
アルミ幕板L=1900 φ4×50トラスタッピングネジ1種	アルミ幕板 (2枚入り) ・ (3枚入り) セット



7.アルミ幕板の施工 (デッキ本体)

●側面アルミ幕板 (前面側) の加工

- ① G寸法 (貼り付けしたアルミ幕板 (躯体側) から床板小口までの寸法) を計測し、その寸法に合わせてアルミ幕板 (L=1900) をカットしてください。
 - ② P17を参照して、同じように孔加工を施してください。
- ※φ8のサラ加工は必要ありません。



●側面アルミ幕板 (前面側) の貼付け

- ① P17を参照して、アルミ幕板の孔位置に合わせ、床板側面及び大引き端部金具にφ3.5の下孔をあけ、側面アルミ幕板を貼り付けてください。
- ※取り付けネジは、上側も下側もφ4×50トラスタッピングネジ1種です。
※取り付け後のセンター部 (上側のみ) のネジ止めは必要ありません。

②正面アルミ幕板の加工及び貼付け

- 間口サイズにより、アルミ幕板の貼りが異なります。
下記参照にて、貼り付けてください。

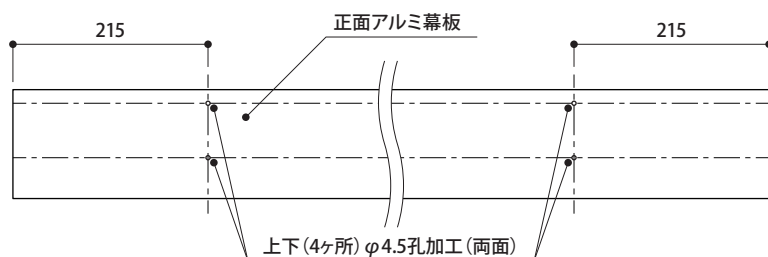
1.間口サイズ1.0間の場合 (1枚貼り・連結なし)

●正面アルミ幕板の加工及びキャップの取付

- ① P18を参照して、同じようにアルミ幕板のカットし、貼り付け用の孔加工を施してください。(下図参照)
- ※φ8のサラ加工は必要ありません。

部材名	梱包名称
アルミ幕板L=1900	アルミ幕板 (2枚入り) ・ (3枚入り) セット
φ4×50トラスタッピングネジ1種	
アルミ端部キャップ	アルミ幕板端部キャップ (2個入り) セット
φ4×13ナベドリルネジ	

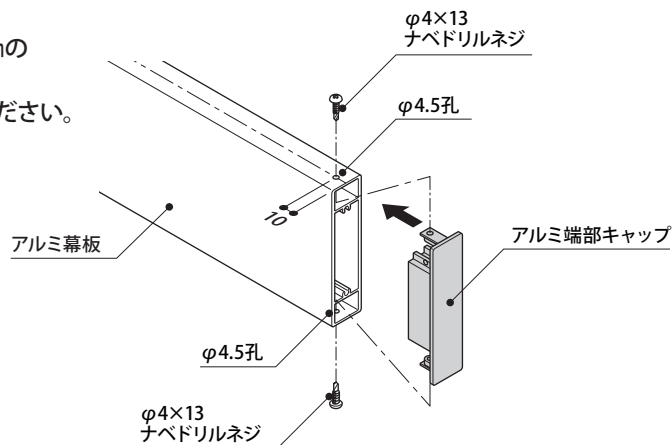
※貼り付け用の孔位置は、下記になります。(ヒバ材幕板と異なります。)



お願い

アルミ幕板の接合部は、隙間やずれ等が出ないように組み付けてください。

- ② 右図のように、アルミ幕板の両端部に小口から10mmのセンター部にφ4.5の下孔をあけ、アルミ幕板端部キャップを、φ4×13ナベドリルネジで取り付けてください。(側面アルミ幕板同士の接合部、正面アルミ幕板との接合部には必要ありません。)



●正面アルミ幕板 (前面側) の貼付け

- ① P18を参照して、アルミ幕板の孔位置に合わせ、床板の小口及び大引き端部金具にφ3.5の下孔をあけ、正面アルミ幕板を貼り付けてください。
- ※取り付けネジは、上側も下側もφ4×50トラスタッピングネジ1種です。
※取り付け後のセンター部 (上側のみ) のネジ止めは必要ありません。

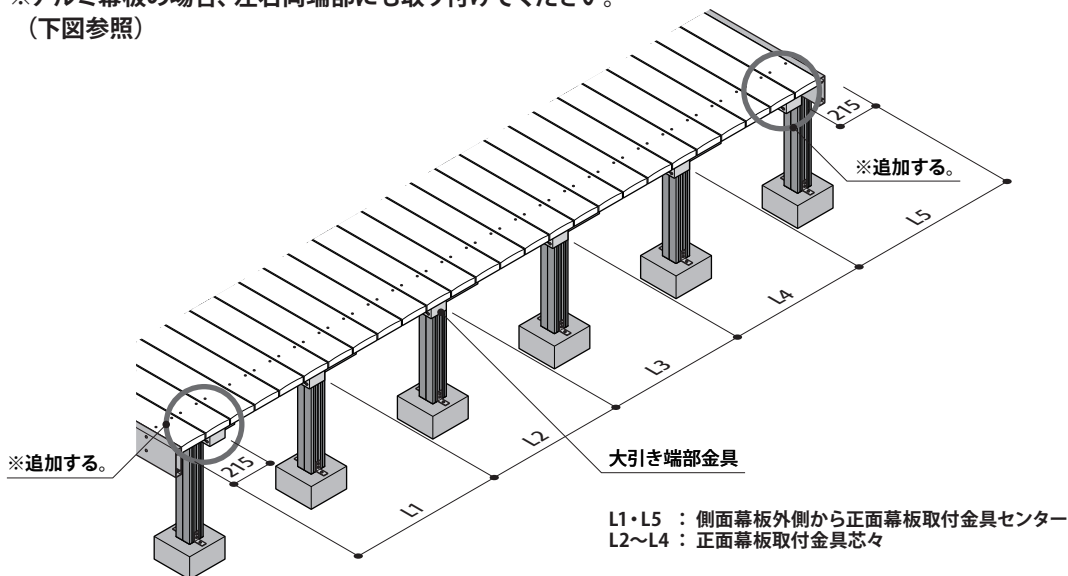
7.アルミ幕板の施工 (デッキ本体)

2.間口サイズ1.5間～5.0間の場合 (複数枚貼り・連結あり)

●正面幕板取付金具の取付

①P19を参照して、正面幕板取付金具及び大引き端部金具を、大引き側面にネジ止めしてください。

※アルミ幕板の場合、左右両端部にも取り付けてください。
(下図参照)



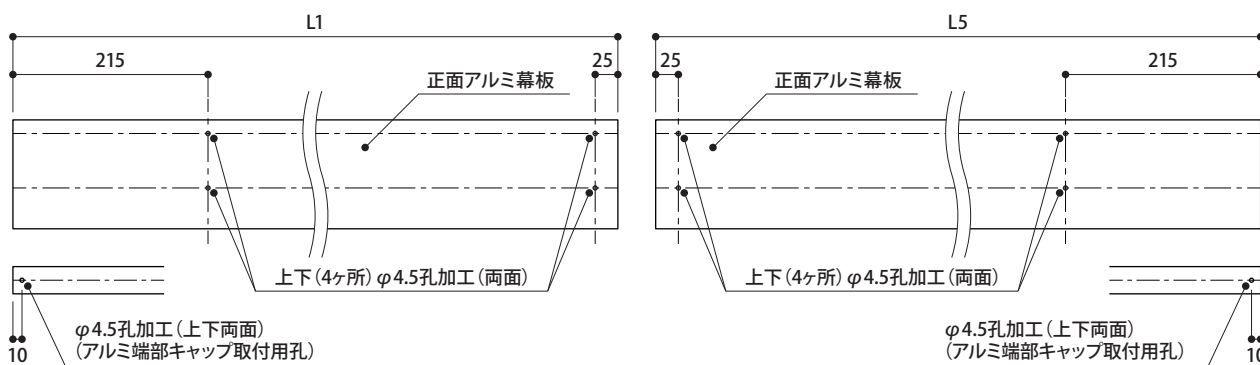
部材名	梱包名称
大引き端部金具	正面幕板固定金具 (1セット入り)
正面幕板取付金具	
φ4×16ナベドリルネジ	
φ4×50サラドリルネジ	
φ4.2×65フレキコースレッド	

●正面アルミ幕板の加工

①P19を参照して、同じようにアルミ幕板 (L=1900) をカットしてください。最後に取り付けるL5は、L1～L4を貼り付けた後実測し、その寸法に合わせてカットしてください。

※L1、L5に貼り付けるアルミ幕板のみ下記寸法にて孔をあけてください。φ8のサラ加工は必要ありません。
(L2～L4はヒバ材幕板と同じです。)

※L1・L5の孔位置は、下記になります。(ヒバ材幕板と異なります。)



●正面アルミ幕板の貼付け

①P20を参照して、L1から順番に正面幕板を貼り付けてください。

※取り付けネジは、上側も下側もφ4×50トラスタッピングネジ1種です。

②L1 (左側) とL5 (右側) には、P27を参照してφ4.5の孔をあけ、アルミ幕板端部キャップを、φ4×13ナベドリルネジで取り付けてください。

ご注意

アルミ幕板の連結部は、左右のアルミ幕板がずれないように連結してください。
ずれますとアルミの小口が出てけがをする恐れがあります。

8.アルミ幕板の施工 (ステップ)

基礎施工から床板の貼付けまでは、ヒバ材幕板と同じです。

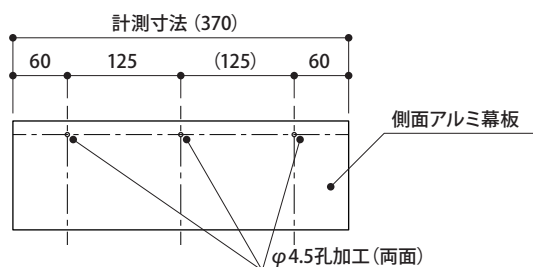
P21～P25「5.床板の加工及び貼付け」を参照して、床板の貼付けまで施工・組付を行ってください。

1.アルミ幕板の加工及び貼付け

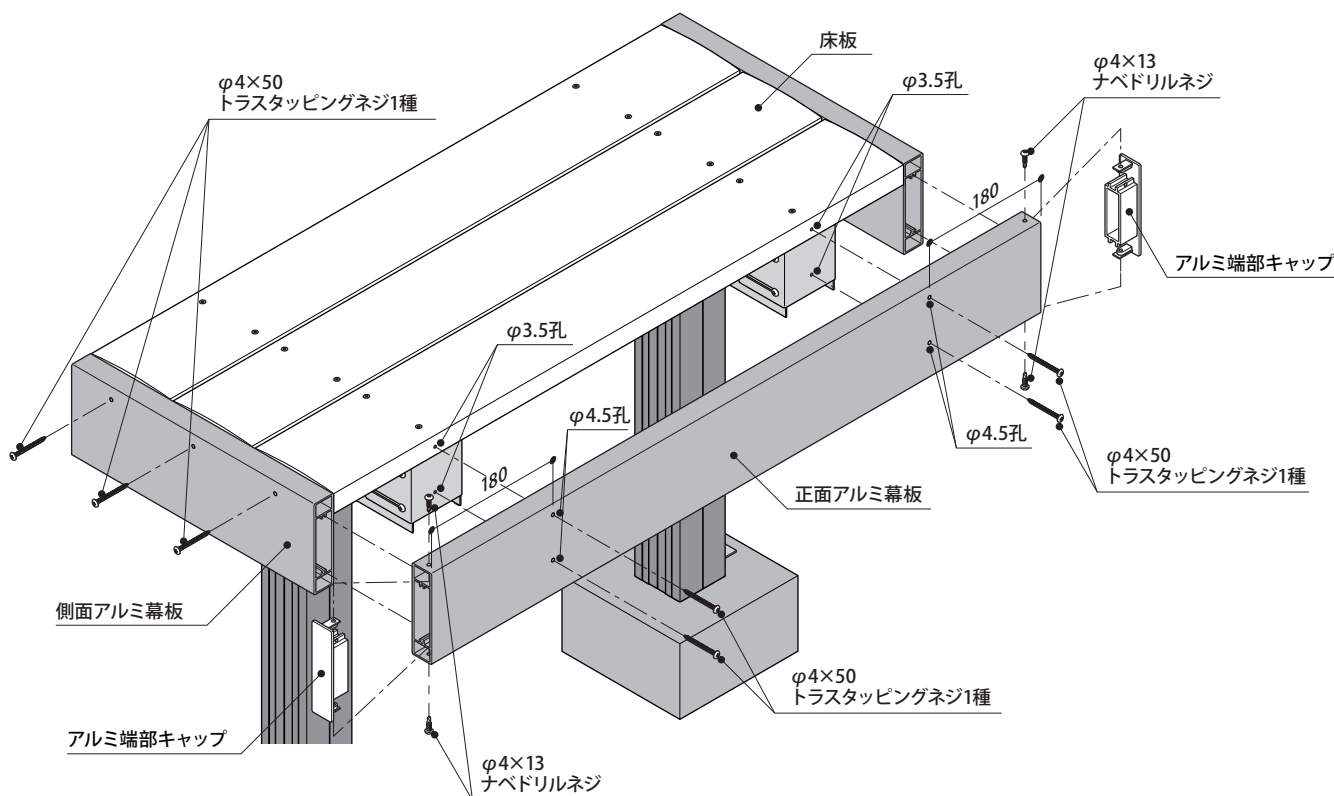
●側面アルミ幕板・正面アルミ幕板の加工及び貼付け

P25を参照して、同じように側面アルミ幕板 (2枚) ・
正面アルミ幕板をカットし、貼り付けてください。

- ①下記参照にて、側面アルミ幕板に孔あけ治具を使って
 $\phi 4.5$ の孔をあけてください。(上側のみ)



- ②側面アルミ幕板を床板の小口にあて位置出し後、側面アルミ幕板の孔に合わせて床板の小口に $\phi 3.5$ の下孔をあけ、ネジ止めしてください。(反対側も同じように加工し、ネジ止めしてください。)
③正面アルミ幕板に孔あけ治具を使って、端部から180mmの位置に $\phi 4.5$ の孔 (取付用孔) をあけてください。
④P27を参照して、アルミ端部キャップの取付孔を左右両側にあけてください。
⑤正面アルミ幕板の左右の小口にアルミ端部キャップをネジ止め後、側面アルミ幕板との位置出しをし、正面アルミ幕板の孔に合わせて、床板側面及び大引き端部金具に $\phi 3.5$ の下孔をあけ、ネジ止めしてください。



- ※正面アルミ幕板は、側面アルミ幕板よりアルミ幕板キャップの厚さ分 (2mm) 左右に出ます。
※アルミ幕板の取り付けネジは、アルミ幕板キャップ以外全て、 $\phi 4 \times 50$ トラスタッピングネジ1種になります。(アルミ幕板同梱)

部材名	梱包名称
アルミ幕板L=1900	アルミ幕板 (2枚入り) ・ (3枚入り) セット
$\phi 4 \times 50$ トラスタッピングネジ1種	
アルミ端部キャップ	アルミ幕板端部キャップ (2個入り) セット
$\phi 4 \times 13$ ナベドリルネジ	

取扱い店名